●ご使用になる前に必ず最後までお読みください

ksc

USP series

SYSTEM 7
システムセヴン

取扱説明書

operator's manual

対象年齢18歳以上

⚠ 警告 失明などの重大なケガのおそれがあり危険です！

誤った取り扱い・不注意な発射は、暴発・跳弾・銃の破損につながり、ケガ・物品破損・事故を招く恐れがあります。以上の事を未然に防ぐために、付属の取扱説明書や警告カード（銃本体に付属）等を最後まで良く読み、正しい使用方法・注意事項・マナーを十分に理解したうえで、安全に当製品をお使いください。

ksc USP series

table of contents

	ページ	インデックス
ご使用の前に	3	(使用前)
エアガンのマナーとルール	4	(マナー)
操作	6	(操　作)
ホップアップメカニズム	13	(ホップ)
メインティナンス(手入れ)	16	(手入れ)
分解(組み立て)	18	(分　解)
保管・管理・譲渡・廃棄	21	(保管他)
パーツリスト	22	(パーツ)
アクセサリー	25	(アクセ)
ワンポイントクリニック	26	(故障?)
アフターサービス	28	(アフター)
お近くにKSC製品取り扱い店がない時は	29	(通　販)
KSC REAL GUN INFORMATION ユニバーサル セルフローディング ピストル	30	(実　銃)

FULL OPEN SYSTEM GAS-BLOWBACK　REAL LIVE DECOCKING　ADJUSTABLE HOP UP MECHANISM　DROP SLIDER LOADING PROCESS　LONG RANGE PISTON UNIT TYPE　LONG RANGE SYSTEM 7

ご使用の前に

KSCからのメッセージです

当製品は18歳以上の方を対象に開発されたスポーツシューティング用エアガンです。玩具として認められる範囲内でのパワーで、BB弾というプラスティックの弾丸を飛ばすことができます。パワーは法律や業界内の自主規準により上限が定められ（銃や使用するBB弾によって多少異なりますが、）その最大到達距離は、無風/仰角をつけた時、50～60mといったところでしょう。風に乗ればさらにその距離は延びます。狙って当たるという距離ではありませんが、もしそこに人がいた場合、その人に当たってしまう可能性は否定できません。さらに近距離となればその確率は高まり、万一の場合はケガにつながる危険性も有しています。もし自分に向ってエアガンを向けられたら、ということを想定してみてください。発射され当たった時の苦痛、当たらなくとも自分の方に向って発射された事への不快感、発射されなくとも銃口が自分の方に向いている事に対する不安感、そういった感情を持たない人は皆無でしょう。こういった感情においては、実銃だろうとオモチャだろうと基本的には同じなのです。オモチャのエアガンといえど、手にした時には実銃を持っている時とまったく同じ心がまえで扱っていただきたい、KSCはそう考えます。
人が銃を手にした時（それが実銃だろうとオモチャだろうと）、その瞬間から『銃を扱う者の義務』が発生します。自分を含め周囲の人間、動物、施設を傷つけることのないよう、さらには他の者に不快感や不安を与えることのないよう、万全の対応が求められます。万全の対応（＝義務）、つまりはルールでありマナーなわけですが、このルールとマナーが十分に守られた時こそ、はじめてエアガンはスポーツシューティングを楽しむためのギア（＝道具）として認知され、オモチャとしての存在意義、趣味としての市民権が得られるのではないでしょうか。義務、マナー、ルールというと固苦しく感じるとは思いますが、要は、安全かつ快適にみんながエアガンで楽しむにはどうすれば良いか、扱い方を知らない人がエアガンを触り誤ってケガをしないようにするにはどう保管すれば良いか……などといった、エアガン仲間や第三者への愛情の表れにほかなりません。そういった意味もふまえて、正しいルールとマナーのもとで、当製品をご愛用ください。

本製品は外観面において実銃を可能なかぎり忠実に再現してあります。また、内部においてはガスブロウバックエアガン特有の機構を内蔵しています。そのため、相当の重量や突起した部分があり落した時などは破損・ケガを生じる危険性があります。さらに、銃特有の動きを再現しスムーズな作動をさせるため、ガス圧による瞬発力を利用すると同時に強力なスプリングも使用しています。万一、取り扱いを誤ると、ケガ・銃の破損・その他の物品破損・事故などを招く原因となり、危険です。また、改造防止のため、銃刀法や業界内の自主規制に基づき、材質の規制（主要部品に鉄のような硬い金属は使えない）や安全設計がなされており、必要以上の強度はありません。正常使用範囲外では『壊れることを義務付けられたオモチャ』。この一点において他の玩具や工業製品とは大きく異なる部分です。さらに外観形状を崩してまでは補強できない『精密模型』でありながら、本来、火薬という破壊的エネルギーの反作用を利用して生み出される鉄製実銃の動きを、プラスティックや柔らかい金属（亜鉛合金など）で再現する。そんな矛盾をはらんだ条件下での製品のため、可動部品の一部には材質強度の限界ギリギリで使用せざるをえない、つまりは破損を前提とした消耗品とお考え願わねばならないものもあります。
以上のような点をご理解いただき、様々なトラブルを回避するためにも、当取扱説明書を最後までよく読み、十分に注意した取り扱いをお願いします。
※取扱説明書、エアガン警告カード等は大切に保管し、安全で正しい取り扱い方を身につけるための手段としてご活用ください。なお取扱説明書や警告カードを紛失した際は当社へご請求ください。その場合、一部¥300（消費税込み・郵送料サービス）となります。

KSC USPシリーズは.45フルサイズ、9mmコンパクトの2系列があります。本書では先行モデルである9mmコンパクトを主として説明していますが.45フルサイズ系も基本的な操作方法は同一です。

エアガンのマナーとルール

警告

失明など重大なケガの危険があります！

誤った取り扱い・不注意な発射は、暴発・跳弾・銃の破損につながり、ケガ・物品破損・事故を招くおそれがあります。それらを未然に防ぐために、下記の項目を厳守し、安全に正しくお使いください。

人に向けない

●どんな時でも銃口を人（本人含む）・動物・こわれやすい物には向けないこと。

銃口向き注意

●無造作に、銃を振りまわさないこと。

銃口側注意

●射撃の際には、遠近にかかわらず、銃口より前方（標的側）に人、動物がいないことを常に確認すること。

銃口のぞくな

●銃口をのぞきこまないこと。

引金触るな

●標的に銃口が向き、かつ発射する意志がある時以外は、絶対に引き金に指をかけないこと。

安全機能確認

●使う時には、まず安全装置など銃の機能が正常に作動することを確かめること。

安全装置ON

●発射する直前までと、発射を終えた直後からは、いつも安全装置をかけておくこと。

装弾銃放置禁止

●射撃をする時以外は、BB弾やガスを装てんしておかないこと。弾倉は銃本体から外しておくこと。

目の保護実行

●使用時は、ゴーグルなどの目を守るものを絶対に着用すること。さらに、フェイスマスク・帽子・手袋・長ソデなど、肌を露出しない服装や装備を身につけ、ケガを未然に防ぐ方法をとること。（本人だけではなく周囲にいる全員）

広い所で射撃

●射撃には広い場所を選び、万一の跳弾を考え、周囲に子供・第３者・動物・キズがついたりこわれるおそれのある物がないことを確かめてから行なうこと。

跳弾注意

●標的に跳弾を生じさせるような固い物を選ばないこと。

射撃前に告知

●複数の人で射撃を楽しむ場合は、発射前に他の人に撃つことを伝え注意をうながすこと。

TPO注意

●屋外では第3者に誤解や迷惑をおよぼさないよう、時・場所・方法等に留意すること。

風向注意

●屋外では風向きにも注意し、流れ弾が思わぬほうに行かないようにすること。

飛距離注意

●夏期時、外気温が高くなると、発射ガスの特性上、弾速が上がり飛距離がのびるので、いっそう注意して発射すること。

残弾確認

●使用後は、マガジンを抜き、チェンバー（薬室）内にBB弾が残っていないか確かめること。残っている場合はすみやかに取り出し安全な状態にすること。

さわらせない

●子供、取り扱い方を知らない人、マナーを守れない人にはさわらせないこと。また、さわれない所に保管すること。

部品等放置禁止

部品紛失注意

●踏んだり、幼児が飲みこむといった万一のアクシデントを考え、BB弾、ボンベ類、部品、メインティナンス用品を放置しないこと。

ケガに注意

BB弾回収

●すべったり幼児が飲みこむといった万一の事故や、環境保全（屋外）のため、BB弾は即時に回収すること。

説明書必読

●その他、取扱説明書など付属の文書はすべてよく読み、銃を扱う際には常にケガ・物品破損・事故がないよう、万全の方策を講ずること。

ケースに保管

ケースで運搬

●使わない時、持ち運ぶ時には必ずケースなどに入れること。

警告カード装着

●使用しない時には、警告カードを銃本体に取りつけておくこと。

違反改造禁止

●パワーアップをはじめ、銃の改造はしないこと。銃刀法に抵触するおそれあり。

悪用厳禁

●イタズラ、犯罪等に悪用しないこと。

★誤った使用方法や改造による事故・故障については、当社では一切の責任を負いませんので、ご了承ください。

必ず守ってください。

エアガンマナー指導書

この製品は18歳以上の方を対象に開発されたスポーツシューティングピストルです。
誤った使い方や、改造によるケガ・故障・事故については、当社は一切の責任を負いません。
正しい使い方で、スポーツシューティングをお楽しみください。

★銃口は、弾が入っていない時でも、絶対に人や動物に向けない。
★発射する時以外は、トリガーに指をかけない。
★使用する時以外は、弾やガスを入れておかない。
★発射方向に人や動物がいないことを常に確認する。
★対象年齢未満の小人の手のとどかない場所に保管し、扱わせない。
★壊れやすい物を標的にしたり、標的のバックに置かない。
★指定のガス、BB弾以外は使用しない。
★銃や弾を絶対に加工しない。
★銃口から中をのぞかない。
★発射する時は、必ずゴーグルやシューティンググラスで目を保護する。

マイティボンベの使用について

● KSC製マイティボンベ以外は、使用しない。
● ガス圧を上げるなどの危険なことをしない。
● その他、ボンベに書いてある注意を守ってください。

取扱説明書や注意書きをよく読んで、使用方法を守ってください。

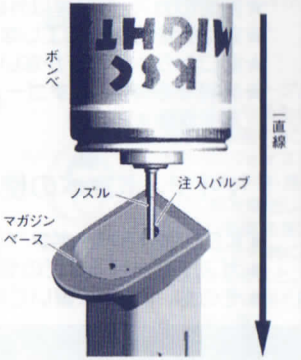
操作 I

1 【ガスの注入】

1.マガジンリリースを押し下げ、マガジンを抜いてください。抜いたらマガジンが温まりすぎていないことを確認します（温まりすぎているとガス充てんが十分に行なえません。次ページを参照し状況改善を行なってください）。

⚠注意 ●マガジンを床などの堅い所へ落とすと変形し、銃の不調につながります。掌で受け止めるようにしてください。また足の上に落してケガをしないようご注意ください

2.マガジンを逆さに持ち、マガジン底部の注入バルブにKSCマイティボンベのノズルを差し込んで、ボンベを軽く押し下げてください。この時、ボンベとマガジンが垂直方向に一直線になるようにするのがコツです。うまく注入できているときはシューという音がします。



⚠注意 ●ボンベを押し下げたとたんに液状ガスが注入バルブ周辺から吹き出す場合は、ボンベとマガジンの注入バルブが一直線になっていない時ですので、微妙に角度を修正して正常に注入できる位置をさがしてください

凍傷の恐れあり。
液状ガスに注意!

3.正常な注入後、満タンになったら液状ガスがふきだしますので注入を終了してください。しばらく放置しマガジンが常温（触ってみて熱さや冷たさを感じない程度）に戻ってから使用します。（マガジンが冷えていると正常に作動しません。）

KSCマイティボンベ500
¥1,365（本体価格¥1,300）
〔500g入り/フロンHFC134a〕

⚠警告 《ガスボンベ使用上の注意》

●KSCマイティボンベ以外は使用しないでください。特に高圧ガス等は故障の原因となるばかりでなく、破損・破裂といった危険につながることも予想されますので、絶対に使わないでください。また、指定以外のものはボンベの口金が合わず注入できないこともあります ●ガス圧を故意に上げるために暖房器具・熱湯等で加温することは絶対にしないでください。破裂の恐れがあり危険です ●注入時に液状ガスが身体や衣類につかないよう注意してください。気化冷却のため凍傷になる危険があります ●その他、マイティボンベに記されている注意内容も守ってお使いください ●上記の注意を守らずに使用して発生した故障や事故については当社は一切の責任を負えません

破裂注意　40℃以上厳禁　火に近づけない　熱湯で温めない　日光に当てない　車中放置禁止

⚠警告 《リキッドチャージマガジン使用上の注意》

●リキッドチャージシステムのマガジンは、ガスを注入した直後、マガジン内が非常に冷却されます。そのため、ガス室の内圧が下がり、エアーノズルの穴より微量のガスが漏れることがありますが、常温になると正常に戻ります。このガス漏れは、非常に微量ですので、使用上全く問題はありません ●発射時にガスを放出する際、マガジンの油分が飛ばされてしまうので、常にオイルを補充し、ベストの状態でご使用ください。（メインティ

ナンスの項参照) ●周辺温度が20℃以下の場合(冬期など)や連続発射をした時は、ガス圧が下がり、作動が鈍くなる場合があります。これは故障ではありませんから、室温などで常温に戻せば調子は回復します。決してマガジンやボンベを故意に温めないでください ●ガスの入っているマガジンを、直射日光の当る所や火気の近くなど、温度の高くなる場所に置かないでください。故障の原因となる場合もありますので、使用しないときは、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください ●注入するガスは、KSC純正の"マイティボンベ"と表示されたものをご使用ください。他の種類のガスをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく危険です。絶対に使用しないでください ●リキッドチャージシステムは、マガジンやボンベが低温になっていてもガスチャージできます。絶対に缶を温めないでください ●マガジンをむやみに分解すると故障の原因となります。また危険ですので絶対にしないでください ●マガジンはかなりの重さを持っていますので、落下させた場合、ケガや破損の原因となります。掌で受け止めてお使いください ●使用しない時は、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください。常に圧力がかかった状態ですと、ゴム類等、内部部品の負担が増し劣化を早めることになります ●ガスを放出させる際は、気化冷却のために非常に低温となりますので、ガスが手や顔にかからないようご注意ください

⚠注意 《マガジン性能安定のポイント》

KSCのガスブロウバックガンは、生ガス(液状ガス)を吹きながらでも正常な作動・弾道が得られるよう設計されていますが、極端に冷えすぎた場合、ブロウバック作動時に送弾せずBB弾が飛ばないことがあります。このような時やガス注入時にマガジンの冷えが確認された場合は注入後に掌でしばらく握っているか、室温など20~30℃のところでしばらく放置して常温(=マガジンを触ってみて冷たくも熱くもない)状態にしてください(放置しておく際は子供の手の届かないところで行ないましょう)。また、逆に直射日光等が原因で温まりすぎてしまった場合ですが、状況によって改善策が多少異なります。 ①ガスが満タン(またはそれに近い状態)で温まりすぎた場合——異常な内圧の上昇により放出バルブの"はりつき現象"が起き、ハンマーの打撃力だけでは放出(=発射)できないことがあります。このような時は放出バルブを押し、ガスを少量放出して内圧を下げてください。この時、放出量が多いと全弾撃ちつくすだけのガスが残らないこともありますので注意しましょう。放出バルブが押せないほど圧力が高くなった時は、図のようにボンベを下にして注入時と同じ要領でマガジンを押しつけると、相方の内圧が同じになるまでガスが逆流し圧力の低下が得られます。こうすると放出バルブを押せるようになりますが、この場合、全弾分のガス量が残っていないことがあり、さらにマガジンが温まったままですとガス補充も十分には行なえません。いったんマガジンからガスを放出し(気化冷却を利用してマガジン温度を下げ)改めてガス注入を行なってから使用してください。② 当マガジンは通常60発以上分のガス量が蓄えられます。性能の安定を図り、残りのガスを有効に使う意味から2マガジン分位を撃つたびにガスチャージしてください。この時、マガジンが温まりすぎていないことが大切です。残りのガスが入っている状態でマガジンが温まりすぎている場合、マガジン内圧がボンベ内圧より勝り、ガス補充のつもりで作業を行なってもマガジンからボンベへの逆流を招くだけで実際にはガス補充ができていなかったということもありえます。そんな時は放出バルブを押して残りガスをすべて放出したうえでガス注入を行なってください。 ③ガスが空の状態のマガジンが温まりすぎた場合——空とはいっても1気圧分の空気は入っています。これが熱により膨張し内圧が高まっているわけですので、ガス充てんが不十分にしか行なえないことがあります。空のマガジンでも放出バルブを押し外気圧(=大気圧)とマガジン内圧を同じくしてからガス注入を行なってください。 ④異常なほどマガジンが熱くなってしまった場合、ガス放出・ガス注入をくりかえし、気化冷却によってマガジン温度を常温(冷たくもなく熱くもない状態)にしてから使ってください。なお、この銃の場合、前述の放出バルブの開放は、放出バルブを押すことで行なえます。最後に以上の内容をまとめると以下の3項に集約することができます。

●銃の性能を100%引き出すにはマガジンのノウハウを身につける
●使用時はマガジン温度をつねに常温状態(20℃以上)でキープする
●「1チャージ2マガジン」が性能安定のポイント

※寒冷期は気化が遅く圧力も低いため、夏場より液状ガスが多く注入され気化スペースを狭くし、最初の数発は生ガスがでてしまう傾向が強まります。満タン注入後はガスを少量放出し、気化スペースを作ってください。

操作 II

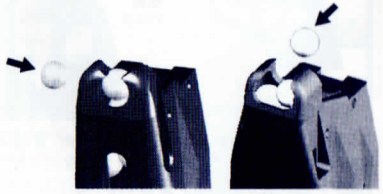
2 【BB弾の装てん】

⚠警告 **《BB弾使用上の注意》**

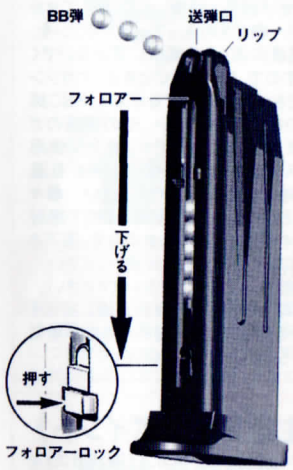
●KSC製エアガン（ガスガン含む）は、全機種KSC製BB弾に合わせた設計・調整が行なわれています。言いかえれば同BB弾使用時に最も高性能が発揮できるということにもなります。以上の理由から、BB弾は必ずKSC製をお使いください。指定外のBB弾、キズがあったり変形したBB弾、改造を施したBB弾は、性能を著しく低下させるばかりか、正常な発射ができなかったり様ざまな作動不良の要因ともなりえます。ご注意ください。（当社への修理依頼品のうち過半数は他社BB弾使用に起因するものです。また、そのうちの半数近くはKSC製BB弾に変えただけで正常作動してしまうというのが実状です。）●KSC製以外のBB弾を使用して発生した故障や事故については、当社では一切の責任を負えません ●BB弾は使用後必ず回収してください。幼児が飲み込んで窒息したり、誤って踏んで転倒し大ケガをするなど、思わぬ事故につながる危険性があります。また、屋外で回収を怠ると、環境破壊にもつながります

スペアマガジンご購入時の注意

USPシリーズのマガジンは、最新型システムセブン対応マガジンの他に、従来のエクセレントピストン対応のマガジンが流通しています。リップやマガジンケース形状の相違から使用できませんのでご注意ください。SYSTEM7型がダブルカアラム／シングルフィード（複列装弾、単列送弾）なのに対し、従来型はダブルカアラム／ダブルフィード（複列装弾、複列送弾）となっています。



シングルフィード　ダブルフィード



3mm以上のすきまができればOK

1. フォロアーを押し下げます。一番下まで行くと自動的に止まります。

2. 22発以内（45は25発）のBB弾を送弾口から装てんしてください。無理に指定弾数を超えて詰めるとラバーチェンバーへの送弾時に破損します。
マガジンへの装弾が終わったら、リップと一番上のBB弾とのすきまが3mm以上あることを必ず確認し、無い場合は1発抜いてください。

3. フォロアーロックを押すとフォロアーは上昇しBB弾をホールドします。この時、BB弾が飛び出さないよう送弾口を指でふさいでおきましょう。

BB弾が少ない時や入っていない時にフォロアーロックを解除すると、おもいきりフォロアーが上昇しリップやBB弾にぶつかり破損を招きます。このような時は指先をそえて、ゆっくり上昇するように配慮してください。

⚠注意 ●指定数をこえるBB弾を無理につめこむと、破損の原因となりますのでご注意ください ●気温の変動等によりマガジン内の圧力が上がりすぎると、ハンマーの力ではガスを放出できなかったり、弾道が乱れる場合があります。そのような時は、BB弾を抜き、ガスを多少放出させ（7ページ参照）ガス圧を下げてからご使用ください

3 【マガジンの装着】

マガジンを銃本体に戻します。この時、マガジンリリースがカチンと音をたててかかるのを確認し、念のため一度マガジンを下に引いて抜け落ちないことを確かめてください。

⚠注意 ●マガジンリリースの構造上、マガジン装着時に銃を握った中指脇の肉を挟まないよう、また、銃本体とマガジンベースの間に掌を挟まないよう、ご注意ください ●万一、指定数をこえるBB弾がマガジンに装てんされている場合は、マガジンが正しく装着できません。無理をして装着しようとすると銃が破損します。このような時はけっして無理をせず、BB弾を減らしたうえで装着してください

破損の原因になります。マガジンをおもいきりたたきこまないでください。

⚠警告 ●BB弾・ガス・マガジンが銃に入っていてもいなくても、銃を持った時は常にトリガーガード内に指を入れない習慣をつけましょう（射撃中は除く）。さらに銃口の向きにも常時注意しましょう

4 【初弾の送りこみ】

スライドをいっぱいに引いて指をパッとはなすと、初弾がチェンバー（薬室）に送りこまれ、ハンマー（撃鉄）が起きた状態になります。

操作手順のリアリティを再現したため、スライドを引く操作を行なわないと作動しません。ドライファイア（空撃ち）時も同様です。ご注意ください。

⚠注意 ●指をそえたりしてスライド前進を遅らせると送弾不良の原因になります。指をパッと離してください ●誤射・暴発を防ぐ意味で、射撃の直前まで薬室にBB弾を送りこまないでください。

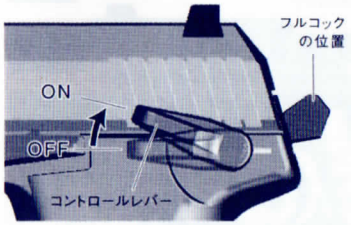
リアルライヴ オペレーション

REAL LIVE OPERATION

実銃の場合、カート入り弾倉を装着し、スライドを引いて薬室に送弾する。これをしなければトリガーを引いても空撃ちになるだけで発射できません。ところが従来のガスBLKガンは、送弾操作をしなくてもガスがマガジンに入っていればブロウバックしてしまいます。実銃ならありえません。そこで、外観のリアリティ、内部メカのリアリティ、とエアガンにも「リアルさ」を追求してきたKSCが求めた第3のリアリティが「操作のリアリティ」でした。実銃どおりの操作をしなければ動かない、ハンマーダウン時は暴発の危険性を避けハーフコックで止める。ある意味では不便な方式ですが、実銃と同じ操作、同じ配感、同じ緊張をユーザーに要求した超上級者指向の構造と言えます。玩具としてではなく、あくまで実銃感覚で扱っていただきたい。そんな想いをこめて、あえて採用したのが「リアルライヴオペレーション」なのです。

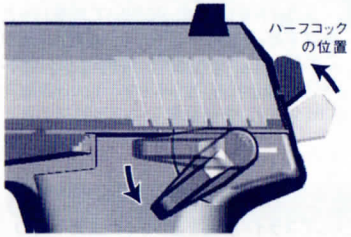
操作 III

5 【セフティ(安全装置)】



マニュアル セフティ

実銃どおり、ハンマーがどの位置にあっても、コントロールレバーを上にあげるとセフティがON、水平位置に戻すとOFF(発射可能状態)になります。



ハンマー デコッキング

ハンマーがフルコック位置にある時にコントロールレバーを水平位置より押し下げると、ハンマーはハーフコック位置まで倒れます。(これも安全装置の一種です。)

リアルライヴ デコッキング

REAL LIVE DECOCKING

コントロールレバーを押し下げるとハンマーのコックが解除され、ハンマーがハーフコック位置まで倒れます。ひとつのレバーで『コックアンドロック』のセフティとデコッキングレバーを兼用するタイプは、数ある実銃のなかでもめずらしく、いかにもメカニズムのH&K社らしいUSPならではの構造といえます。その構造をKSCは実銃どおりにリアルに再現し、実現どおりにライヴで機能するよう製作しました。

⚠警告 ●コントロールレバーを操作する時は、不調や故障の場合を考え、万一暴発しても事故や器物破損がおきないよう、銃口の向きに注意し、さらに跳弾しない配慮をしてください ●セフティ操作中はトリガーに指をかけないでください。発射をする時以外は、つねに安全装置をかけておく習慣をつけるようにしましょう

6 【発 射】

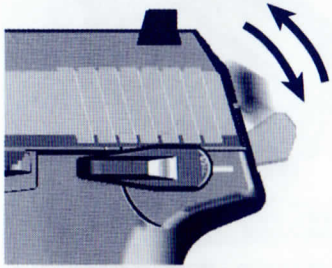
セフティをはずし、トリガーを引いてください。トリガーを引くたびにガス圧によるBB弾発射とスライド後退(ガスブロウバック)が行なわれます。

★スペアマガジンを活用するといっそうシューティングが楽しめます。(25ページ「アクセサリー」の項参照)

★快調作動はマガジンの温度コントロールと1チャージ2マガジンがポイントです。

⚠警告 ●銃を横にしたり逆さにして撃たないでください。液状ガス（＝生ガス）がそのまま出てしまいます。この状態のガスは気化冷却のため非常に冷たく、体に触れると凍傷になる可能性があります。さらに、銃内部の特にゴム部分を凍らせてしまう場合もあり、劣化をいちじるしく進行させます。ご注意ください

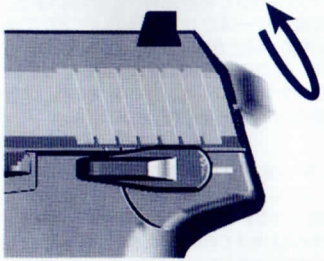
⚠注意 ●銃後方にブロウバック時の排気を感ずる場合があります。また、パワーソースとして使用しているガスの特性上、寒冷期やマガジンが冷えている場合は、作動不良が起こることもあります（6ページ“リキッドチャージマガジン使用上の注意”7ページ“マガジン性能安定のポイント”参照）。これらはいずれも故障ではありませんので、ご了承ください ●ガス残量が少なくなると、作動が悪くなり性能が安定しません。早めにガスを補充してください



発射の方法は次の２通りです。

シングルアクション

ハンマーが起きている状態からトリガーを引いてハンマーをダウンさせ、発射させる方式



ダブルアクション

ハンマーがダウンしている状態またはハーフコックの状態から、トリガーを引き絞ってゆく動きに連動してハンマーが起き上がり、ある位置で両者の連係がきれてハンマーがダウンし、発射させる方式

⚠警告

《発射時の注意》

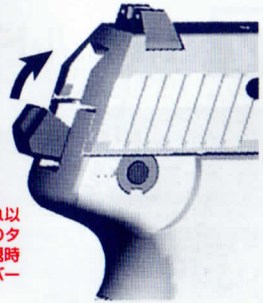
不注意な発射は失明やケガ等の危険があります。発射の際は跳弾にも十分注意し周囲の安全を必ず確認してください

●スライドが勢いよく後退します。顔を近づけないでください。また、跳弾や万一の破損による部品の飛散を想定して、シューティンググラスなどのアイプロテクション（目を保護するもの）を必ず着用し、肌を露出しない服装になるなどしてケガを未然に防ぐ方法をとってください ●倒れてくるハンマーで指などを挟まれないよう注意してください ●撃つ・撃たない、BB弾が薬室に入っている・入っていないにかかわらず、どんな時にも人・動物・こわれやすい物に銃口を向けない、または銃口側にいない（ない）ようにしてください ●同上の理由から、万一の暴発を考え、銃口をのぞきこまないでください ●BB弾の到達距離はその時の気温、風向に多分に左右されますので、より遠く、より広範囲にわたって十分な注意をはらってください ●イタズラに他人の物、公共の物を撃ったりすることは絶対しないでください。それは犯罪です ●発射する意志があり、かつ銃口が標的に向いている時以外は、絶対に引金に指を触れないでください ●射撃を楽しんでいる以外の人がいる時や屋外の場合は、近所迷惑・誤解のないよう十分注意してください ●壊れやすい物を標的にしたり、標的の周辺に置かないでください ●跳弾は思わぬ方向に飛ぶ可能性があります。可能な限り広範囲に注意をはらってください ●複数の人で射撃を楽しむ場合は、全員にアイプロテクションの着用を義務づけ、射撃前には他の人に発射することを伝え注意をうながしてください ●必要以上の空撃ち（ガスやBB弾を使わない射撃操作）は部品の摩耗・破損につながりますので、しないでください ●マガジンが銃に装着されている時、起きているハンマーを指でおさえながらトリガーを引いてゆっくりとハンマーを倒す操作は絶対にしないでください。暴発し後退するスライドでケガをする危険があります

危険!!

×

指でハンマーを戻すこと厳禁



（ハーフコック位置までなら可能ですが、それ以上はトリガーとハンマーのコックオフ操作のタイミングをまちがえると暴発し、スライド後退時にケガをする危険があります。コントロールレバーでの操作をお勧めします。）

操作 IV

正しい操作方法を身につけて
快適なスポーツシューティングを楽しみましょう

★性能どおりの命中精度を引き出すには、しっかりしたグリップホールドが不可欠です。図のようなツーハンドホールドが最も効果的。右手は突き出し左手は体の方へ引きつけるようにして握るのがコツです。（右手で銃を握った場合）

●良くない グリップホールド

←左手親指の位置に注意！ちょっとでも親指が上へズレると、後退するスライドやハンマーでケガをする恐れがあり危険です。左手親指は銃を握っている右手の親指にのせるか添わせるのが一般的なツーハンドホールドです。

7 【ホールドオープン】

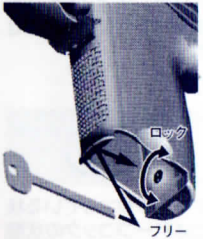
全弾撃ちつくすとスライドリリースがかかり、スライドは後退位置で止まります。スライドリリースを下げるとスライドが前進し通常位置に戻ります。
替えマガジンがある時は、オープン状態のまま空マガジンを抜き、替えマガジンを装着し、スライドを引くと初弾が送りこまれ再度発射準備完了です。

⚠注意 ●スライド閉鎖時に指を挟まないよう注意してください。この時、トリガーに指がかかっていないことと、銃口の向きにも注意をはらってください ●寒冷期やガス切れ・連続発射等によるガス圧不足、メインティナンス不足、グリップホールドの甘さなどが原因となって、スライドリリースがかからない時がありますが、これは故障ではありません。該当する原因を改善すれば正常にもどります

8 【発射が終わったら】

マガジンを抜き、スライドを引いてチェンバー内に残弾がないことを確かめ、残弾がある時はスライドリリースをかけた状態で、銃口側からロッド状のもので押し出してください。

使用後はラバーチェンバー内を綿棒でクリーニング



ロックアウトディバイス

これも安全装置の一種です。子供や銃に詳しくない方が万一触っても暴発等がおきないよう、銃の機能をフリーズさせる装置で、2つの穴がタテに並んでいるときはフリー（銃は作動する）、専用のキーで90度右回転させ、横に並んでいる時はロック（作動できない）となります。使用後は必ずかけて安全を確保してください。

⚠警告 ●撃ち終った時、撃つ意志がない時には、ただちに薬室からBB弾を抜き、決して入れたままにならないようにしてください（誤射・暴発へつながる可能性があります） ●使用しない時はいつもロックアウトディバイスをかけておいてください

ホップアップメカニズム I

ホップ調整をマスターして
銃の性能を最大限に引き出しましょう

【ホップアップの現状】

当製品には可変ホップアップメカニズムが標準装備になっています。このメカニズムは、発射時のBB弾に意図的に一定方向（上向き）の回転を与えることで揚力を生ませ、それにより、より遠くへ水平軌道のまま（あるいは多少の放物線を描かせて）到達させることを目的に開発されています。

一般的に言われているホップアップ機能の特徴は以下のとおりです。

●無謀なパワーアップという手段を使わずにBB弾を遠くまで飛ばすことができる　●弾速はノーマルに較べ遅くなる場合もある　●タイトな機構であるため、BB弾のバラツキ、気温、湿度の変化が、ホップアップ効果の変動要因となる。

以上のように『遠くへ飛ばす』という大きなメリットと『BB弾・ガス圧といった不安定要素が、（ノーマルガン以上に）性能に影響を及ぼす』というデメリットを併せ持つのがホップアップガンなのです。ホップアップガンの性能を高水準で安定させるにはデメリットを最小限にすれば良いわけで、それにはいくつかの条件を満たす必要があります。

PERFECT BB
［超精密BB弾］
このマークが目印！

⚠注意　《ホップアップ性能安定の条件》

①BB弾を選ぶ。

同一種のBB弾で、真球度が高く、径にバラツキのないものを選び、同時に汚れ・キズ・変形等がないことをチェックのうえ使用する。なお、0.2～0.25g弾の使用がもっとも効果的（軽量弾はバラツキ等の影響が顕著に表れ弾道が安定せず、重量弾だと飛距離が伸びない）。

②パワー（ガス圧）を極力一定に保つ。

ボンベやマガジンの使用時の温度が一定（保管時も同様）であることが望ましい。使用の際は替えマガジンなどを用意し、使用済みマガジンは休ませてガス圧の回復を図るといった方法もデメリットを最小限にするにはベター。

③ラバーチェンバー、銃身内部の状態を同一条件下に維持する。

オイルのつきすぎ、不良BB弾の使用やホップのかけすぎによる弾づまり等に起因するキズ、摩耗した部品の使用などもマイナス要因となる。メインティナンス時の注油は微量多頻度で行ない（17ページ参照）条件を安定させる意味から常に注油量を一定にする、ラバーチェンバー・インナーバレル内のオイルや汚れを定期的にクリーニングする、BB弾・ラバーチェンバーやインナーバレルにキズ・摩耗がある場合は早めに取り換える、といった配慮が必要。

④大気の状態が安定している

いうまでもなく無風が望ましい。気温差も上記②に関連してホップのかかりぐあいに影響をおよぼすので配慮が必要。

※以上の4条件を満たせばその銃が持つホップアップ性能を100%引き出せる訳ですが、シューティングを楽しみながら、それらの微細な条件を常に高レヴェルでクリアーすることは現実的には困難です。そこで考え方としては、80～90%の性能レヴェルを維持しつつホップアップを楽しむ、具体的にいえば10発中1発前後の弾道の乱れなら（もともと条件をクリアーしていないのですから）許容範囲と考え割り切って楽しむ、というのが一般的のようです。では、ホップアップの現況説明はこれくらいにして、本製品のホップアップに関して説明してゆきましょう。

※KSCのホップアップ搭載銃はすべてKSCパーフェクトBB弾に合わせて設計し、同BB弾によって最も性能が発揮できるよう調整されています。銃性能を生かす意味からもKSCパーフェクトBB弾をお使いください。なお、当製品の場合、25℃をこえるような環境下では0.25g弾、それ以下では0.2g弾の使用が命中精度の点では有効です。　0.2g弾=4,000発入り￥1,050（本体価格￥1,000）、0.25g弾=3,000発入り￥1,050（本体価格￥1,000）

ホップアップメカニズム II

【調整と試射】

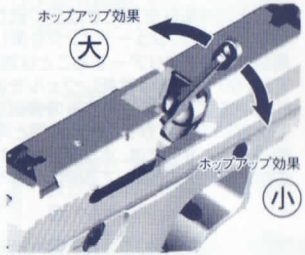
★ホップアップ調整には20m以上の空間が必要です。

1 まず、銃を撃ってみます（操作の項参照）。ホップのかかりぐあいが希望どおりの弾道を描いているかどうかをチェックします。この時、10～12発撃ち平均的な弾道やグルーピングにより判断してください（2～3発ではデータとして不十分です。判断を誤る可能性があります）。

2 マガジンを抜きスライドを作業しやすいところまで後退させ、エジェクションポートからホップアジャスターを差し込み、アジャストリングの歯車状の突起の凸凹とアジャスターの凸凹が全周ともきれいに噛み合うように装着します。

アジャスターの中心軸と、ラバーチェンバーとアジャストリングの中心軸が同一線上になります。

3 試射の結果、ホップのかかりが弱い時は左回転、強い時は右回転させ、ホップ調整をしてください。この時、アジャストリングとアジャスターの全周の凸凹がきれいに噛み合い、かつ密着していることを確かめた上で操作してください。



調整は左右合計100度位の範囲内で可能。
（回し過ぎはガイドが変形し作動不調原因に）

アウターバレル薬室部入口上部の内曲面に、ホップアジャスターの円筒部上面を密着させ、それをガイドにして回すと正しく回せます。

⚠注意 ●歯車状突起が全周きれいに噛み合っていない時や密着していない時などのように正常装着でない場合、アウターバレルやその他の部品に変形やキズを付けてしまう可能性があります。十分注意して操作してください。

★調整のポイント

ホップ効果	BB弾の弾道現象	アジャストリングの調整
無効	自重による自然放物落下	さらに上へ
小	水平飛行距離が自然放物落下よりはのびる	少し上へ
適	水平飛行距離が最長に	そのまま
大	水平飛行から上昇に移り、最後に放物孤で落下（この現象の直前状態が最適のチューニング）	少し下へ
かけすぎ	極端なホップ、極端なドロップ、停弾、発射サイクルのバラツキ等が起きる	さらに下へ

⚠注意 ●『調整のポイント』の表の『かけすぎ』の現象が起きた場合は、すみやかに射撃を中止し改善方法を実行してください（ラバーチェンバーをはじめ銃の摩耗・破損をはやめることになります） ●弾づまりの時はアジャストリングをホップ効果がきかない所まで戻し、その上でBB弾を取り去ってください（かけすぎの状態＝つまりラバーチェンバー内が狭いため停弾したわけですから、この状態で強引にBB弾を抜き取ろうとすると確実にラバーチェンバーを痛めてしまいます） ●アジャストリングの回る範囲内で適正HOPにできない時は①一般に6mmBBと呼んでいますが、厳密には5.93±0.02mmというように同じ製品でもサイズに大小があり、平均直径はメーカーごとに異なり、KSC製より大きかったり小さすぎたりします。他社製をお使いの場合、KSC製にすることで改善できることがあります。②KSC製BB弾でも調整できない時は、ラバーチェンバーがオイルを吸って膨張している可能性が高く、これは銃が新品でも起り得ます。マガジンやシリンダーの内部のオイルがガス流によってラバーチェンバーに付着しますので使用後は必ず綿棒などで拭き取ってください（実験によると一晩で膨張した例があります）。●誤った調整方法・分解・改造による故障・事故等については当社では一切の責任を負いません。また、その結果として生じた修理・調整費用はすべて有料となります

4 調整→試射→調整と、以後、希望の弾道が得られるまで何度かくりかえします。

⚠注意 《快調なホップアップを楽しむために》

●ホップアップというメカニズムは、BB弾上面に摩擦抵抗をかけることで回転運動を与える構造をもっています。BB弾に伝わったガス圧によるエネルギーを一部浪費することもあり、この場合弾速は幾分落ちてしまいます。これは銃の発射にとってマイナス要素ですが、ホップアップ効果が加わることで飛距離が大幅にのびるというプラス要素のほうがはるかに上廻るというのがホップアップの大きなメリットになっているわけです。ただし、あくまで弾速に抵抗をかけているのですから、寒冷期や連射後の極端にマガジンが冷えた状態の時などは、プラス要素とマイナス要素の差が少なくなってきます。その分、めだっていなかったマイナス要素がめだってくるわけで、具体的には弾道や弾速がバラついてくるという現象となって表れます。特に多弾数の連射の際には極めてその確率が高く、不調あるいは故障と誤解なさることが考えられます。これはガスガンの宿命ともいえるもので、故障ではありません。寒冷期にもホップアップを快調に楽しむために、ガス注入後のマガジンは20°～30°Cの室内や掌で温めた状態でご使用ください。なお、こたつやお湯などの40°C以上になる場所・方法での強制的な温め方は絶対にしないでください。銃の故障につながるばかりか、破裂・破損の可能性があり極めて危険です

⚠警告 《ホップアップガン使用上の注意》

●試射/射撃の際には11ページの《発射時の注意》をよく読み道守してください ●操作時は6～11ページをよく読み理解のうえ使用してください ●ホップアップの場合、飛距離がのびますので、人・動物・壊れるおそれのある物がないことを、かなり前方に至るまで（万一を考え80mくらいまで）しっかりと確認してください ●ホップアップガンの場合、横に倒したり傾けたりして撃つと、弾道が大きく曲がり危険です。銃は通常の立てた状態で使用してください ●銃の傾き・風向きによる流れ弾、跳弾のことも考え、ノーマルガン以上に広範囲にわたって十分な注意をはらってください

飛距離注意　HOP弾道注意　傾けて撃たない　広い場所で射撃

★ホップアップに関するワンポイントクリニック（故障かなと思ったら）

現象	原因	対処方法
ホップしすぎる（調整最小でもホップする）	ホップ効果の効きすぎ	アジャストリングを右へ
	BB弾が軽すぎる	適正重量（0.2～0.25g）の弾を使用
	BB弾が大きすぎる	KSC純正弾を使用
	ラバーチェンバーの大膨張	オイル浸透が原因。新品に交換
	関連部品の経時微変化	一例（アジャストボールを小さくする）
ホップがばらつく	ホップ効果がまだ弱い	アジャストリングを左へ
	BB弾の径のバラツキ	精度の良いBB弾を使用する
ホップがかからない（調整最大でもホップしない）	ホップが効いていない	アジャストリングを左へ
	ラバーチェンバーの摩耗	新品パーツと交換
	ラバーチェンバーに油	綿棒等で拭き取る
	BB弾がホップに向かない	重すぎる。KSC純正弾を使用
	BB弾が小さすぎる	KSC純正弾か同サイズ弾を使用
	ラバーチェンバーの小膨張	オイル浸透が原因。新品に交換
	関連部品の経時微変化	一例（アジャストボールを大きくする）
ホップ調整ができない	ラバーチェンバーの摩耗	新品パーツと交換
	関連部品の摩耗・破損	新品パーツと交換
	インナーバレルのゆるみ	しっかりラバーチェンバーにさしこむ
弾が飛ばない	ホップ効果の効きすぎ	アジャストリングを右へ
	ラバーチェンバーの摩耗	新品パーツと交換
	ラバーチェンバーの軟化	新品に変換（以前より弾速低下の時）
	銃身内の汚れ	綿棒等でインナーバレル内を清掃
弾づまりする	BB弾が大きすぎる	適正サイズのBB弾のみを使用
	ホップ効果のかけすぎ	アジャストリングを右へ
	ラバーチェンバーの汚れ	綿棒等でクリーニングする
ホップ効果がしだいに弱くなる	ガス圧低下／弾倉の冷え	マガジン、ガスを常温に戻す
	メインティナンス時のオイルの使いすぎ	空撃ちでマガジンやピストン内のオイルを飛ばしラバーチェンバー内やインナーバレル内を清掃
	ホップ関連部品の摩耗	摩耗部品を新品に交換する

メインティナンス（手入れ）

⚠警告 ●手入れを怠ると、たとえ買ったばかりの品でも作動不調をおこします。最終的には銃の耐久性にも影響しますので、こまめに行なってください　●メインティナンス中に工具類でケガをしないようご注意ください

⚠注意

《使用前点検》

何度も使っているうちにピン類が出てきたりスクリュー類がゆるんできたりすることがあります。弾が飛ばなくなる・閉鎖不良が起きるといった不調症状が表れ、故障・部品紛失の要因となりえますので定期的にチェックしましょう。特にブリーチスクリュー（パーツリスト参照）は、ガスブロウバック時の振動により、ゆるみやすい傾向にあります。使用前に必ずチェックし、ゆるんでいる場合は「増し締め」してください。（『ネジロック』などのゆるみ止め剤を少量つけ固定する方法もあります。使用の際はその商品の使用方法・注意書をよく読んでからお使いください。）

※上記スクリュー類がゆるみはじめると、BB弾がポロッとしか飛ばなくなる、弾道がバラつく、BB弾の送り込みが悪くなる、スライドの閉鎖不良が起きる、ブロウバックのスピード低下、などの不調症状が生じます。そのまま使い続けると症状は悪化し、さらには関連部品の破損につながりますので、異状に気付いた時にはすみやかに点検し改善してください。なお、ガス切れ／ガスの冷えすぎた時にも同症状が表れますので、そちらもチェックしてください（6～7ページ参照）。

⚠注意

《使用オイルについての注意》

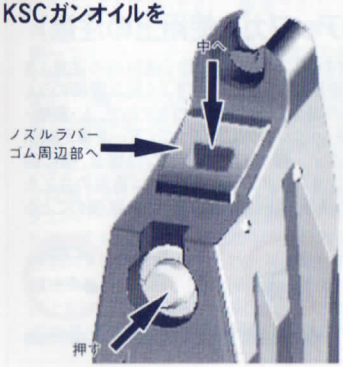
オイルはプラスティック用で「第4石油類」と明記されたテフロン系／シリコン系のものをお使いください。以上の表示がないものは絶対使わないでください。モデルガン／エアガンで使用されているゴム類や各種プラスティックのなかのある種の材質を侵してしまうものがあることが、当社の実験結果で確認されています。 なかでも第2石油類のタイプ、金属用オイル（ミシン油、モーターオイル、CRC556などのスプレー潤滑油、錆/汚れ落としなど）は、100%といって良いほどヒビ割れなどの劣化の原因となります（○○石油類の表示のないものも、内容成分が不明であることからお使いにならないほうが無難でしょう）。少なくともKSCガンオイルは、大半の他社製品を含め現時点でモデルガン／エアガンに使用されているほとんどのプラスティック材料をテストし異常のないことを確認済みです。安心してお使いください

【マガジン】

マガジン後部の放出バルブを押すと、ガスを抜くことができます。つねにガス圧がかかった状態ですとシールドをしているゴム類に負担がかかり、劣化を早めることになりますので、発射後は、残ったガスを必ず抜いておきましょう。さらに、BB弾が入ったままですとフォロアースプリングの「へたり」が早くなってしまいます。BB弾も抜いておいてください。

⚠警告 ガス放出時は、液状ガスが手や顔などに吹きかからないよう放出口の向きに注意してください。もちろん他の人や動・植物、電気製品、凍ると破損するものに対しても同様です。瞬時の冷却・凍結による凍傷・故障の原因となり危険です。

KSCガンオイルを



放出バルブを押した状態で、ノズルラバーの放出口からマガジン内部へKSCガンオイルを注入してください。また、ノズルラバー上面部や、放出バルブへも注油してください。

※いずれもごく少量でOKです。5～10マガジンくらいを目安に行なってください。

【銃本体】

●ピストンユニット部

ガスブロウバックの心臓部にあたるピストンユニット部は、注油の必要はほとんどありません。どちらかというとクリーニングのほうが大切です。特にシリンダーの前後の動きは快調さを維持するには重要ポイントですので定期的にチェックしクリーニングしてください。

スライドレール部やピストン部に粘性の高いオイル（電動ガン用モリブデングリースなど）や左記注意欄で触れたオイル類を使用すると100%不調・破損の原因になります。KSC製オイル類以外は絶対に使わないでください

●スライド部

スライドの動きが鈍くなってきたら、18ページの分解の手順を参考にしてスライドを外し、スライドとシャーシのレール部、シャーシ上面、ブリーチ下面をクリーニングしたうえで、薄く注油してください。オイルはKSCガンオイルをお勧めします。（オイルはごく少量で充分。つけすぎは不調原因となります）

KSC
ガンオイル
250
¥1,260
（本体価格¥1,200）

250g入り
シリコーン配合
潤滑スプレー

プラから金属までオールマイティーに使えます

⚠警告 《KSCガンオイル使用上の注意》

●炎や火気の近く、高温の場所では使用しない、40℃以上のところに置かない、など、KSCガンオイルの缶に表示されている注意内容をよく読み、正しくお使いください。室内の換気、近くにオイルがつくとまずい物がないことなどにも注意してください
●上記の注意を守らずに使用して発生した故障や事故については当社は一切の責任を負えません

破裂注意　40℃以上厳禁　火に近づけない　熱湯で温めない　日光に当てない　車中放置禁止

⚠注意 ●ラバーチェンバー内にはKSCガンオイル等を使用しないでください。オイルが付着しているとBB弾がスリップして正常な弾速・弾道で発射できないことがあります。また、ラバーチェンバーの材質の関係から、オイル成分によってはゴムが膨張してくる場合もあります。以上の理由からマガジン内部、ピストンユニット部の注油は1回の注油量を必要最低限とし、定期的にこまめに行なってください（多量少頻度ではなく微量多頻度が、注油〈＝メインティナンス〉とラバーチェンバー内部条件を最大公約数的にベターに保つポイントとなります）。なお、弾道等に影響がでるほどにオイル分がつきすぎた場合や、その日の使用をやめたあとは、ティッシュや綿棒等でチェンバー内を必ずクリーニングしておいてください　●銃身内が汚れていると命中精度に悪影響をおよぼします。綿棒やティッシュなどで定期的にクリーニングしてください

●その他の可動部品

★スライドとフレームのレール部、ハンマーハウジングユニット部など可動部品の連係する部分、スプリング類などにも時どき注油してください。

★長時間使用しない時は、特にサビの出る可能性のあるスプリング類などスティールパーツを中心に、念入りにメインティナンスしてください。

●銃のクリーニング

⚠注意 メインティナンスはガンオイルを吹きつけるだけでOKというわけではありません。ゴミ、汚れ、水分の付着は、飛距離や命中精度の低下、作動不調の原因となりうるばかりでなく、サビの発生、部品劣化の加速にもつながります。つねにクリーンな状態を保ち、愛用の銃をいつも最高のコンディションにしておきましょう

⚠警告 ●エアガンは3ページ目でも触れたとおり、悪意の改造を防止するために必要最低限の強度しかありません。使用部品の材質は主にプラスティックや強度の低い金属（亜鉛合金など）です。耐久性には限りがありますので消耗品とお考えください。特にガスブロウバック作動に関連する部品は磨耗や劣化がはげしく、使用回数が増えるほど寿命は短くなります　●踏んだり、幼児がのみこんでしまうといった万一の事故を考え、BB弾、部品、メインティナンス用品は放置しないでください　●パワーアップなどの危険改造は絶対しないでください。社会に迷惑を及ぼすばかりか、銃の破損確率も高まり本人がケガをする可能性も増大し危険です。なお、誤った使い方や改造が要因となって発生した故障・事故・事件につきましては、当社はいっさいの責任を負いません

分　解（組み立て）1

エアガンは通常の場合、分解の必要はありません。弾づまりやメインティナンスの時以外は分解しないでください。

⚠警告 ●作業中に工具類や部品（特にスプリング、ボール類は飛び出してくる可能性があります）でケガをしないよう注意してください　●部品・工具・メインティナンス用具は、たとえ1個でも子供の届くところには放置しないでください。ケガや、誤って飲み込んでしまい窒息するなどといった重大な事故につながる可能性があります　●分解・組み立ての際は部品をなくさないよう注意してください　●無理な分解（組み立て）や、当説明書に説明している以外の方法は、組み違いによる誤動作・部品の破損・変形につながりますので、やめてください

【フィールドストリップ（通常分解）】

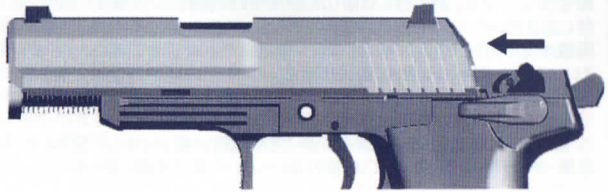
〈組み立てる時は〉

基本的に分解の逆手順（項目番号の大きい数字から小さいほうへ逆行）で行なってください。

1 マガジンを抜き、スライドを引いて
薬室に残弾がないことを確認してください。

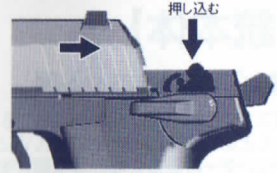
2

スライド左側面中央底部の切り欠きをスライドリリース軸部に合わせると、リリースの内部突起部が見えます。この状態で逆側（銃右側面）からリリースのシャフトを押せば、スライドリリースが左側にはずせます。
次にスライドアッシーを前方に引き抜いてください。



組み立て

スライドとフレームのレール部を合わせて組み込みます。スライドを入れてゆくとディスコネクターとロックプレートに当たりますので指で押し込みながら行なってください。

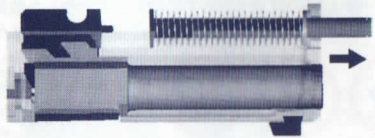


3

リコイルスプリングユニットをはずします。エジェクションポート前部と、アウターバレルのチェンバー部のラグが噛み合っていないようにし、そのうえでバレルを少し前にずらしてピストンとの連係をはずし、斜め下後方に抜いてください。
★これで通常分解終了です。これ以上は、破損パーツ交換時以外は分解する必要はありません。

組み立て

スライド前面の穴にリコイルスプリングユニットの先端を入れ、すこしガイド軸を引っぱり出します。そのままアウターバレルアッシーを装着し（スライドの銃身用穴にバレルを通し、チェンバーのラグとエジェクションポートが噛み合う位置までバレルを後退させてください）ガイド軸を基にもどして完了です。

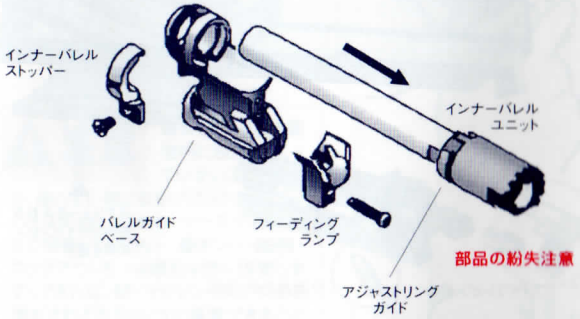


※一連の作業は銃を逆さにしたほうがラクです。

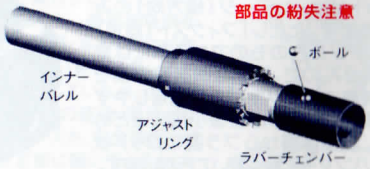
【バレルの分解】

★バレル交換時にのみ行なってください（交換時以外は分解の必要はなく、難易度が高いためお勧めしません）。

アウターバレルからインナーバレルユニット一式を取り出し（バレルガイドベースをずらすと簡単に外れます）次にネジ止めされているインナーバレルストッパー、フィーディングランプを外します。これでインナーバレルユニットが後方に抜き出せます。



アジャストリングガイドをはずし、アジャストリングを前方へずらします。ラバーチェンバーは後方へ、はずしてください。



《組み立て時の注意》

9mmコンパクト系も.45フルサイズ系も、組み立ては上記手順を逆に行なってゆきますが、以下のパーツは向きがありますのでまちがえないようにしてください。

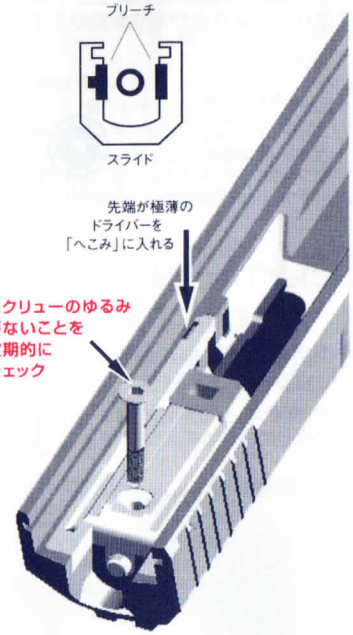
ラバーチェンバー内側下部の突起をインナーバレル下部のミゾに合わせ、上図のミゾにチェンバー前部をはめこむ。

ボールをラバーチェンバー上部のへこみにのせたら、アジャストリング前方の段差にある突起が上になるようにして、ラバーチェンバーにかぶせてゆきます。

分　解（組み立て）II

無理な分解・組み立ては、破損・ケガの原因になります
細心の注意をはらって行ってください

【ブリーチスクリューの増し締め】



★ブリーチスクリューがゆるみ、不調となった場合を考え、記しておきます。

まず、2mmの6角レンチでブリーチフィクススクリューを抜き取ります。ブリーチは下から見て左側前方部がスライド内側の溝にはまりこんでいるため、外側へスライド内壁を拡げなければ外せません。そこで、ブリーチ先端部のへこみに、先が薄いマイナスドライバーを差し込み、先端を支点にしてゆっくり拡げてゆくと、ブリーチが浮き上がってきます。あとはユニット全体をつまみ出してください。

次にブリーチからファイアリンピン等を取り出し、その奥にセットされているブリーチスクリューを増し締めします。（ネジロックなどのゆるみ止め剤をつけて組み立てておくと、分解しない限りゆるみませんので増し締めの必要はありません。）

力を入れすぎないよう注意

組み立ては、ブリーチの先端部が両方とも内側に曲がっていないかチェックしたうえで行ないます。ファイリンピンなど小部品を組み込んだうえで、ブリーチ全体をパチンと音がするまで押し込んでください。組み入れたらシリンダーのガス注入口に指先をあて、シリンダーの前後動が正常か確かめます。動きが渋い時はブリーチ先端部がまだ内側へ曲っている場合もありますので、外側へわずかに拡げてみてください。ただし拡げすぎないよう注意してください。

スプリング飛び出し注意

小部品紛失注意

注意：フレーム側（特にコントロールレバー＆ハンマーユニット部）の分解・組立は、非常に難度が高く、お勧めできません。不調時は当社アフターサービス部に修理依頼をしてください。

フロントサイトの左右微調整

フロントサイトはウィンデージ（横方向）のみ微調整が可能です。ただし「フィクスト（固定）サイト」のジャンル内のものである事には変わりはありませんので、頻繁な微調整作業をくり返すと次第にガタツキが生じ脱落しやすくなってきます。調整は必要最小限にとどめてください。調整は横からプラ製のロッド状の物をあて、ハンマーで軽く叩いて行ないます。

保管・運搬・譲渡・廃棄

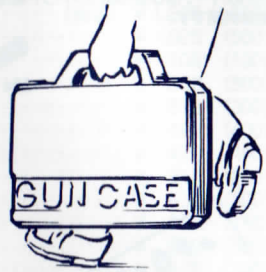
【保管】

保管の際は必ずロックアウトディバイスのロック（12ページ参照）をかけてください。また、銃の保管は必ずオーナー（所有者）の責任で、事件・事故につながらないよう、確実に行なってください。

⚠注意 ●スライドを引き薬室内にBB弾が入っていないことを確かめ、使わない時には必ずロックアウトディバイスのロックをかけ、ケースや箱に入れて保管してください ●ボンベ・BB弾・ロックアウトキーは銃とは別に保管します（できれば、銃・マガジン・ボンベ・BB弾がそれぞれ別べつに保管できることが望ましい） ●子供・取り扱い方を知らない人・マナーを守れない人にはさわらせないでください。また、さわれないよう保管してください。（もしそのような人に銃をさわらせる場合は、持ち主の責任で安全管理をし、取り扱い方・マナー等を正しく理解・実行していただけるよう啓蒙してください。） ●保管場所が不適当な場合の盗難・事故・事件が生じても当社はいっさい責任は負いません ●長い間使用していなかった銃を使用する場合、部品の破損・摩耗がないか、作動はスムーズか、安全装置などの銃の機能が正常に働いているか、などをまず確かめてください

【運搬】

⚠注意 ●持ち運ぶ場合はケースや袋に入れ、決して銃をむき出したままではしないでください（第三者に不快感を与えたり誤解を招く可能性があります）



【譲渡】

⚠注意 ●銃を他の人にゆずる時は、銃だけではなく、取扱説明書や警告カードも渡してください。取扱説明書がなかったために誤った操作をして本人もしくは他の人がケガをしてしまった場合、あなたにも責任がかかってくる可能性があります

取扱説明書や警告カードを紛失した際は当社へご請求ください。その場合、一部¥300（消費税込み・郵送料サービス）となります。

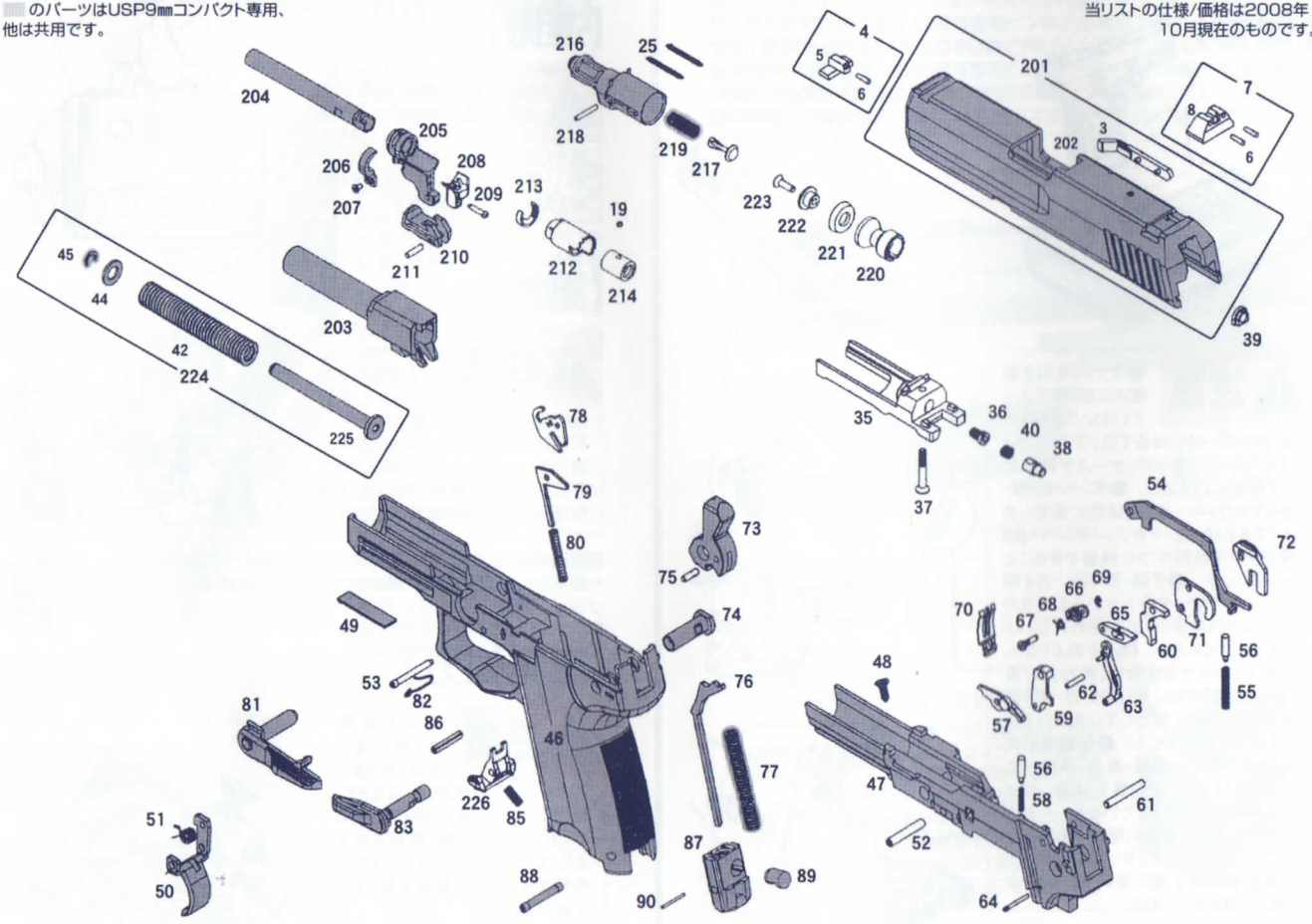
【廃棄処分】

⚠注意 ●銃を廃棄する（捨てる）場合は、ガスが入っていないことを確認し、箱などに入れ「処分する玩具」と明記して行なってください。この際、悪用されないよう、わざと破損させる、バラバラに分解するといった配慮もあったほうが良いでしょう

パーツリスト I

■ のパーツはUSP9㎜コンパクト専用、
他は共用です。

当リストの仕様/価格は2008年
10月現在のものです。



■ 9㎜コンパクト 銃本体

		5%税込価格	(本体価格)
4	フロントサイトセット ……set	¥ 525	(500)
	〔5 フロントサイト、6 サイトインサートのセット〕		
7	リアサイトセット ……set	¥ 630	(600)
	〔8 リアサイト、6 サイトインサート(×2)のセット〕		
19	アジャストボール ……(φ2)	¥ 53	(50)
25	シリンダースプリング(×2) ……(M9)1コ	¥ 105	(100)
35	ブリーチ ……	¥ 1,050	(1,000)
36	ブリーチスクリュー ……(M9)	¥ 210	(200)
37	ブリーチフィクススクリュー ……(6H/M3×20)	¥ 105	(100)
38	ファイリンピン ……(M945)	¥ 315	(300)
39	ファイリンピンスリーブ ……(CZ75)	¥ 210	(200)
40	ファイリンピンスプリング ……(M945)	¥ 53	(50)
46	フレームC ……	¥ 4,200	(4,000)
47	シャーシC ……	¥ 1,890	(1,800)
48	シャーシスクリュー ……(TP/M3×8)	¥ 53	(50)
49	シリアルプレートC ……	¥ 210	(200)
50	トリガーC ……	¥ 525	(500)
51	トリガースプリング ……	¥ 315	(300)
52	トリガースリーブ ……	¥ 158	(150)
53	トリガーピン ……	¥ 210	(200)
54	トリガーバー 9㎜ ……	¥ 840	(800)
55	トリガーバースプリング ……	¥ 105	(100)
56	ディテントピン(×2) ……1コ	¥ 158	(150)
57	ロックプレート ……(焼結)	¥ 1,260	(1,200)
58	ロックプレートスプリング ……	¥ 53	(50)
59	シアー ……(焼結)	¥ 1,050	(1,000)
60	シアーコンプリート ……(焼結)	¥ 1,050	(1,000)
61	シアーピン ……	¥ 210	(200)
62	シアーフットピン ……(SP/φ2×10)	¥ 53	(50)
63	インパクトフレーム ……	¥ 525	(500)
64	インパクトフレームピン ……	¥ 105	(100)
65	インパクトバー ……(焼結)	¥ 1,050	(1,000)
66	インパクトハンマー ……	¥ 263	(250)
67	インパクトハンマーピン ……	¥ 315	(300)
68	インパクトハンマースプリング ……	¥ 210	(200)
69	インパクトハンマーEリング ……(E1.5)	¥ 53	(50)
70	フラットスプリング ……	¥ 315	(300)
71	キャッチ ……	¥ 315	(300)
72	ディスコネクター ……	¥ 420	(400)
73	ボッブドハンマー ……(焼結)	¥ 1,680	(1,600)
74	ハンマーアクスル 9㎜ ……	¥ 525	(500)
75	ハンマーピン ……	¥ 105	(100)
76	ハンマーストラット 9㎜ ……	¥ 630	(600)
77	メインスプリングC ……	¥ 315	(300)
78	ディテントプレート ……	¥ 420	(400)
79	スライドプレート ……	¥ 420	(400)
80	スライドプレートスプリング ……	¥ 210	(200)
81	スライドリリース 9㎜ ……	¥ 630	(600)
82	スライドリリーススプリング ……	¥ 158	(150)
83	コントロールレバー 9㎜ ……	¥ 630	(600)
85	マガジンリリーススプリング ……	¥ 105	(100)
86	マガジンリリースピン ……(SP-Lφ3×16)	¥ 105	(100)
87	ランヤードループC ……	¥ 420	(400)
88	ランヤードループピン 9㎜ ……	¥ 210	(200)
89	ロックアウトディバイス 9㎜ ……	¥ 210	(200)
90	ロックアウトスプリング ……	¥ 105	(100)
201	Cスライドセット07 …… set	¥ 4,200	(4,000)
	〔202 Cスライド07 ……	¥ —	(—)〕
	3 エキストラクター ……	¥ 315	(300)
203	Cアウターバレル07 ……	¥ 1,260	(1,200)
204	78インナーバレル07 ……	¥ 1,050	(1,000)
205	インナーバレルガイド07 ……	¥ 630	(600)
206	インナーバレルストッパー07 ……	¥ 210	(200)
207	インナーバレルストッパースクリュー ……(M2×4)	¥ 53	(50)
208	フィーディングランプ07 ……	¥ 315	(300)
209	フィーディングランプスクリュー ……(M2×10)	¥ 105	(100)
210	バレルガイドベース07 ……	¥ 525	(500)
211	バレルガイドベースピン ……	¥ 53	(50)
212	アジャストリング07 ……	¥ 315	(300)
213	アジャストリングガイド07 ……	¥ 210	(200)
214	ラバーチェンバー07 ……(G17)	¥ 315	(300)
216	シリンダー07 ……	¥ 840	(800)
217	プラグ07 ……(G17)	¥ 315	(300)
218	プラグピン ……(P226)	¥ 105	(100)
219	プラグスプリング ……(G17)	¥ 158	(150)
220	ピストン07 ……	¥ 840	(800)
221	ピストンリング07 ……	¥ 525	(500)

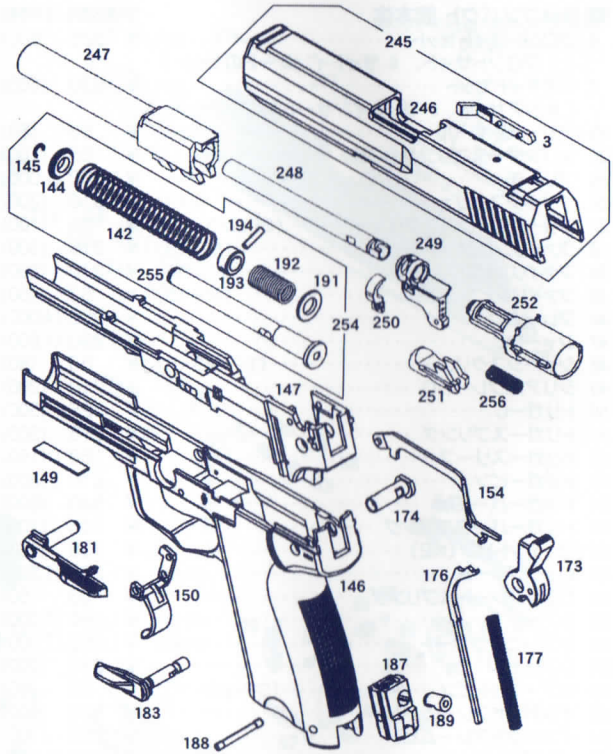
(以下次ページに続く)

パーツリスト II & アクセサリー

			5%税込価格	(本体価格)
222	ピストンヘッド07	(M1911)	¥ 210	(200)
223	ピストンヘッドスクリュー	(M3×10)	¥ 53	(50)
224	Cリコイルユニット07	set	¥ 2,100	(2,000)
225	Cリコイルスプリングガイド07		¥ 945	(900)
42	リコイルスプリングC	(フラット型)	¥ 1,050	(1,000)
44	リコイルスプリングリテイナー9mm		¥ 105	(100)
45	リコイルスプリングEリング	(E3)	¥ 53	(50)
226	マガジンリリース07		¥ 420	(400)

■ 45フルサイズ 銃本体

146	フレーム45		¥ 4,200	(4,000)
147	シャーシ45		¥ 1,890	(1,800)
149	シリアルプレート45		¥ 210	(200)
150	トリガー45		¥ 525	(500)
154	トリガーバー45		¥ 840	(800)
173	ハンマー45	(焼結)	¥ 1,890	(1,800)
174	ハンマーアクスル45		¥ 525	(500)
176	ハンマーストラット45		¥ 630	(600)
177	メインスプリング45		¥ 315	(300)
181	スライドリリース45		¥ 630	(600)
183	コントロールレバー45		¥ 630	(600)
187	ランヤードループ45		¥ 420	(400)
188	ランヤードループピン45		¥ 210	(200)
189	ロックアウトディバイス45		¥ 210	(200)
245	45スライドセット07	set	¥ 4,410	(4,200)
246	45スライド07		¥ —	(—)
3	エキストラクター		¥ 315	(300)
247	45アウターバレル07		¥ 1,470	(1,400)
248	100インナーバレル07		¥ 1,365	(1,300)
249	45インナーバレルガイド07		¥ 630	(600)
250	45インナーバレルストッパー07		¥ 210	(200)
251	45バレルガイドベース07		¥ 525	(500)
252	45シリンダー07		¥ 840	(800)
254	45リコイルユニット07	set	¥ 2,310	(2,200)
255	45リコイルスプリングガイド07		¥ 1,050	(1,000)
142	リコイルスプリング45		¥ 420	(400)
144	リコイルスプリングリテイナー45		¥ 315	(300)
145	リコイルスプリングCEリング45	(CE6)	¥ 53	(50)
191	リコイルスペーサー		¥ 263	(250)

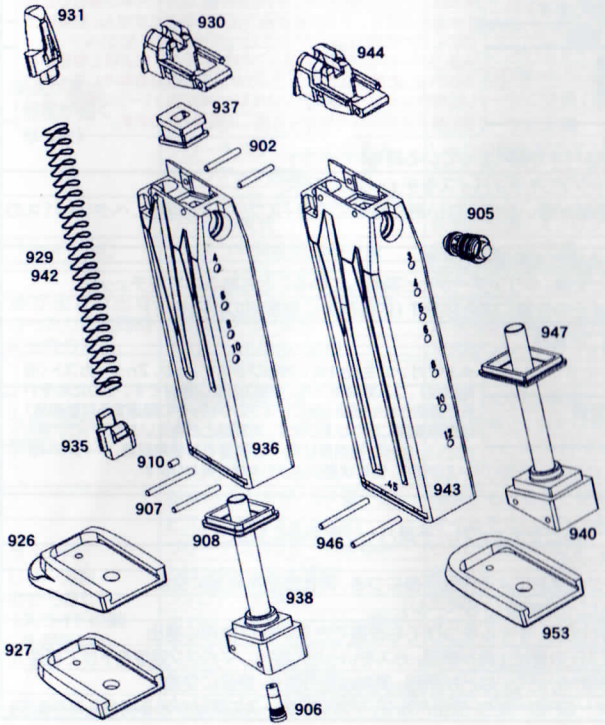


192	バッファースプリング		¥ 105	(100)
193	バッファースプリングリテイナー		¥ 315	(300)
194	バッファースプリングリテイナーピン	(SP・P3×10)	¥ 53	(50)
256	45プラグスプリング		¥ 158	(150)

KSC純正部品以外のパーツ等の使用による作動不良・故障・事故においては、修理・交換等の責任は当社では負いかねます
仕様/価格は改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。価格は消費税を含んだメーカー希望小売価格で、( )内が本体価格です

■ マガジン

		5%税込価格	(本体価格)
902	マガジンリップピン(×2) …… 1コ	¥ 53	(50)
905	放出バルブ ……	¥ 840	(800)
906	注入バルブ ……	¥ 315	(300)
907	マガジンインナーベースピン 9㎜(×2) …… 1コ	¥ 53	(50)
908	マガジンシール 9㎜ …… (G17)	¥ 210	(200)
910	マガジンベースロックピン ……	¥ 53	(50)



926	エクステンデットマガジンベースC ……	¥ 525	(500)
927	コンパクトマガジンベース ……	¥ 420	(400)
929	Cマガジンフォロアースプリング07 ……	¥ 420	(400)
930	マガジンリップ07 ……	¥ 735	(700)
931	マガジンフォロアー07セット …… set	¥ 525	(500)
	〔932 マガジンフォロアー07、933 マガジンフォロアーロック07、934 フォロアーロックスプリングのセット〕		
935	マガジンベースロック07 ……	¥ 315	(300)
936	Cマガジンケース07 ……	¥ 2,625	(2,500)
937	ノズルラバー07 ……	¥ 315	(300)
938	Cマガジンインナーベースセット07 …… set	¥ 840	(800)
	〔939 Cマガジンインナーベース07、925 マガジンインナーパイプCのセット〕		
940	45マガジンインナーベースセット07 …… set	¥ 840	(800)
	〔941 45マガジンインナーベース07、952 マガジンインナーパイプ45のセット〕		
942	45マガジンフォロアースプリング07 ……	¥ 420	(400)
943	45マガジンケース07 ……	¥ 3,150	(3,000)
944	45マガジンリップ07 ……	¥ 735	(700)
946	マガジンインナーベースピン45(×2) …… 1コ	¥ 53	(50)
947	マガジンシール45 ……	¥ 210	(200)
953	マガジンベース45 ……	¥ 525	(500)

■ シューティングトウール

996	ロックアウトキー ……	¥ 315	(300)
U500	ホップアジャスター ……	¥ 420	(400)

■ アクセサリー

G275	USP45マガジン07 ……	¥ 4,200	(4,000)
G270	USPコンパクトマガジン07 ……	¥ 3,990	(3,800)
B020	マイティボンベ500(HFC134a) ……	¥ 1,365	(1,300)
B825	パーフェクトBB 0.25g弾(3,000発入り) ……	¥ 1,050	(1,000)

■ メインティナンスグッズ

B030	KSCガンオイル(シリコーン配合潤滑スプレー)	¥ 1,260	(1,200)
U530	2.0 mmL型6角レンチ ……	¥ 105	(100)
U540	2.5 mmL型6角レンチ ……	¥ 105	(100)
U620	バルブレンチ(放出/注入バルブ専用工具) ……	¥ 2,100	(2,000)

ワンポイントクリニック（故障かなと思ったら）

現　象	原　因	対　処　方　法
マガジンにガス注入できない	マガジンの温まりすぎ	放出バルブを押してバルブを開放し内圧を下げる。マガジン温度を常温にもどしてから再注入
	ボンベ内のガス量/圧力不足	新しいボンベを使う
	注入バルブの破損	新品パーツと交換
マガジンからのガスもれ	バルブ類の破損・オイル切れ	オイルをさしても改善できない時は新品パーツと交換
	放出バルブのOリング冷却収縮	冷えすぎでOリングが収縮しシールド不良になった時は、バルブのシャフトを引っぱり出し、マガジン温度を正常にしたのち使用
マガジンリリースがかからない	指定数を超える弾が入っている	指定弾数以内にへらす（無理して押し込むとシリンダー部やスライド等の破損・変形につながるので注意）
	マガジンケースの変形	いずれの場合も新品に交換 （スプリングのヘタリが原因の時もあります）
	マガジンリリースの摩耗	
スライドが引けない	ロックアウトディバイスがON	ロックアウトキーで左へ90度回し、解除
BB弾が薬室に入って行かない	マガジンリップ、フォロアー、シリンダー下部レール先端、ラバーチェンバーの変形	いずれの場合も新品に交換（BB弾の変形、サイズのバラツキ等に不調原因がある場合も考えられます）
トリガーが空振りする	トリガーバー、同SP、ハンマーの破損・摩耗	いずれも新品に交換 （SPはスプリングの略で、この場合はバネが弱くなっている時もあります）
トリガーが引けない・戻らない（ハンマーが落ちない）	セフティ機構がかかっている	コントロールレバーのセフティとロックアウトディバイスをチェックしOFFに
	シアー周辺部品、トリガーバー関連部品の異状・変形・摩耗	いずれの場合も新品に交換。どの部品が悪いか判らない時は修理に提出（スプリングの場合、ヘタリ=バネの弱化が原因のときもあります）
引金をひくとガスが全部でる	マガジン内のガス圧不足	ガスを補充し、マガジンが冷えている場合は常温にもどす
	ピストンリングの劣化	注油後も改善できない場合は新品と交換。シリンダーがヒビ割れしていることもあるので要チェック
	ピストンリングの外れ	リングの変形（伸びなど）がなければ元の位置にはめなおす（内径部分に接着剤の使用も可）
ハンマーが起きない	スライド後退（ガス圧）不足	ガス補充。弾倉の冷えを改善（7ページ参照）
	ハンマー/シアー/ディスコネクター/トリガーバーの変形	いずれも新品パーツに交換 あるいは修理に提出
DA時ハンマーの落ちがはやい	トリガーバー/ハンマー/トリガーバーSPの変形・摩耗	いずれも時も不良パーツを新品に交換 （DA=ダブルアクション）
セフティがかからない	レバーやディテントプレート他セフティ関連部品の異状	不良パーツを新品に交換 あるいは修理に提出
デコッキング不調（または暴発する）	ハンマーがコック位置にない	正常（フルコック時のみ作動）
	デコッキング関連部品の異状	ハンマー、シアー、シアーコンプリートなどをチェックし、不良パーツを新品に交換
BB弾が発射しない（ハンマーが落ちてもガスが出ない）	マガジン装着不良	正しくロックするまでマガジンを押し込む
	インナーピストンの異常	インナーピストンまたは同スプリングの変形による作動不良につき、異状部品を新品に交換
	ラバーチェンバー部での停弾	ホップアップの項のワンポイントクリニック参照（15ページ）
	ガス切れ、ガスもれ	マガジンにガスを注入する。ガスもれの際、オイルをつけても改善できない時は修理に提出
	ガスのパワー過剰	真夏の屋外など高温の環境によるガス圧の異状上昇が原因。ガスをいったん放出しマガジン温度を下げて再注入
	マガジン内での弾づまり	異物の混入、フォロアーの変形、BB弾が小さい、などが原因。異物は取り除き、新品に交換
	インパクトハンマー部の作動不良	不良パーツを交換（インパクトハンマーSPのへたり、放出バルブ、マガジンケースに異状がある場合もあります）

★表記以外の故障の場合、単独の原因ではなく大半が複合の原因によるものです。そのため対処方法を断定できません。お買い上げのお店へお持ちいただくか当社へ直接お送りください。
★新品パーツと交換する場合、分解・組み立てによほど自信がある以外は、お買い求めの販売店かKSCに修理依頼をしてください。無理な分解・組み立てによる新たな破損、パーツの紛失、組み違いによる新たな不調を引き起こす要因となります。

★エアガンの主要材質であるプラスティック、Znダイカスト（亜鉛合金）、ゴム類は耐久性（強度）の低い素材です。そのためそれらで製造された部品（特にガスブロウバックに関連する可動部品）は耐用期間に限りがあります。消耗品とお考えいただき、ご了承ください。なお耐用期間は同一の部品でも使用回数、メインティナンスの頻度、管理状態によって大幅に異なります。

現　象	原　因	対　処　方　法
弾が銃口からポロッと落ちる	ラバーチェンバーの摩耗	新品に交換
	インナーバレルのゆるみ	しっかりラバーチェンバーとインナーバレルをジョイントする
弾道がバラつく（弾道が曲がる、命中精度が悪くなる）	BB弾の異状	弾の大きさのバラツキ、キズ、変形がなく、真球度の高いものを選ぶ。KSC純正BB弾を使用
	バレル関連部品の異状	ラバーチェンバー、インナーバレル内部にキズ、変形がある場合は、新品パーツと交換
	部品相互のナラシ不足	スライドとシャーシ、スライドとバレルなど可動部の動きを、注油・水ペーパー等による磨きで滑らかにする
	ホップアップ調整不良	ホップアップの項の調整と試射セクション（14ページ）参照
	グリップホールドが甘い	手首がぐらつかないようしっかりにぎって撃つ。ツーハンドホールドがベター
弾速が遅い（射程が短くなった）	ガス量不足/パワー不足	ガスをマガジンに補充する
	マガジンの冷えすぎ	掌で温める、しばらく放置するといった無理のない方法で常温にもどす（=ガス圧を回復させる）
	ラバーチェンバーの異状	オイルがついていれば綿棒などで拭き取る。摩耗・軟化・膨張・変形している時は新品パーツに交換
	BB弾が小さすぎる	適正のBB弾=KSC純正のものにかえる
	ピストンリングの摩耗	新品パーツに交換（単にオイル切れの場合もあります）
	シリンダーのヒビ割れ	新品パーツに交換
	ブリーチスクリューのゆるみ	しっかり締めなおす（場合によっては微量のネジロックで固定しても良い）
	ホップアップ調整のしすぎ	アジャストリングを右方向にまわす（ホップアップの項参照）
	インナーバレルのゆるみ、汚れ	しっかりラバーチェンバーにさしこむ。インナーバレル内の汚れを綿棒で拭き取る
	プラグの異状	新品に交換（スプリングに異常があることもあり）
フルオートに	ディスコネ関連部品の不良	新品パーツに交換
弾が出たり出なかったり2発同時に出たりする	マガジンの冷えすぎ	常温になるまで放置するか掌であたためる
	ブリーチスクリューのゆるみ	しめなおす
	BB弾の不良・変形	正常なBB弾のみ使用する
	マガジンの不良・破損	マガジンリップかフォロアーの変形が大半の要因なので異状パーツを新品に交換
	ホップアップのかけすぎ	アジャストリングを少し右方向にまわす
スライドが閉鎖しない	BB弾の送弾不良	上項「BB弾が薬室に入っていかない」参照
	リップ、ノズルの変形	変形を修正。または新品と交換
	オイル切れ、スクリューゆるみ	シャーシとスライドのレール部、ブリーチ下部に注油する。ブリーチフィクススクリューをしめなおす
	ピストンリングの外れ	リングの変形（伸びなど）がなければ元の位置にはめなおす（内径部分に接着剤の使用も可）
スライドリリースがかからない（スライドの動きが悪い）	弾倉の冷えすぎ/ガス量不足	常温にもどるまで使用を中断しガス圧の回復をはかる。ノズルラバー部に注油する。ガスを補充する
	ピストン部のオイル切れ	オイルをさしても改善できない場合、Oリングの劣化に原因があることが多い→新品に交換
	ブリーチスクリューのゆるみ	しっかり締めなおす
	シリンダーのヒビ割れ	新品パーツと交換
	フォロアーの摩耗	新品パーツと交換（フォロアーが正常位置まで上がらない時は装弾部をクリーニングする）
	マガジンのノズルラバー異状	オイルをさしても改善できない時は新品パーツと交換
	スライドレール部のネバリ	スライド/シャーシのレール部に注油しても改善できない時は修理に提出
	ピストンリングの変形	スライドが途中で止まってしまう時はリングとシリンダーが噛んでいる可能性あり。リングを新品に交換
	スライドリリース関連部品の不良	新品に交換（スライドリリーススプリングの変形もチェックすること）

アフターサービス　（修理のお申し込みは…）

可能な限りの迅速な対応を
させていただいています

●銃が不調の時は「ワンポイントクリニック」でチェックしてください。それでも改善できない場合は、お買い上げ店にお持ちいただくか当社へお送りいただくかのいずれかの方法で、修理申し込みをしてください。
●具体的な故障内容、修理を希望する内容、予算に限りがある時は修理費用限度額、お客様のお名前・ご住所・お電話番号を明示してください。
●当社へお送りいただく場合は、宅配便か郵便小包でお送りください。原則としてお送りいただく際の送料はお客様のご負担となります。
●有料の場合の修理終了時には、代金引換便にて発送します。
●当社到着後1週間以内で発送できるよう修理作業を行なっていますが、夏休み・年末年始、修理申込多数時は、2〜3週間かかる場合もあります。ご了承ください。（部品品切れ等でそれ以上かかる時はご連絡します。）
●修理品ご返却時には必ず、修理内容・代金等の詳細を記した『修理カード』を添付していますので、受領時にご確認ください。
●万一初期（新品）不良があった場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。当社での直接対応をお望みの際は、不良箇所の改善はもちろん無償ですが、送料のみご負担いただくことになります。（ご注意:通常、専門店様では、外観や作動をお客様立ち合いのもとにチェックしたうえで販売するというのが一般的です。通信販売も同様で、お客様にかわって担当者が外観・作動をチェックし異状がないことを確認したうえで発送するというのが基本となっているようです。ところがインターネットを含む通販業者の一部には、初期的トラブル時やアフターサービスの対応を行なわない所もあるようです。以上のことから、通販でご購入の際は、万一の場合にも対応していただける信頼できる業者様からのご購入をお勧めします。）

★修理申し込み時には、右の表内容に準じて明示いただくか、コピー（拡大可）して記入し、修理品にご同梱ください。

送り先：〒400-0111 山梨県甲斐市竜王新町1852−6
KSC　アフターサービス部　　（電話受付10時〜5時）
TEL. 055-260-7601　FAX. 055-279-0098

●安全性に問題のある改造品、改造パーツ組込製品の修理はお受けできません。やむなく修理せざるを得ない場合、それらの部品をすべてKSC純正品にかえさせていただき、改造パーツは処分させていただきます（その際の部品代金は有料となります）。

⚠警告　当モデルに限らず、市販カスタムパーツのなかで銃の主要部品（スライド、フレーム、薬室部一体型銃身など）を金属で製作したものが一部で出廻っているようですがそれらを装着すると、銃刀法上での違法品という扱いを受ける可能性があります。（特に拳銃はその可能性が高く、）最悪の場合は処罰されることも予想されますので、絶対使用しないでください。また、当社純正品以外のカスタムパーツを取り付けた場合、不調を招くこともあります。ご注意ください。なお、当社純正品以外の部品に直接的・間接的故障原因があると想定された場合、メーカー責任の範囲外にあるものと判断させていただき、アフターサービスの対象から外させていただきます。いっさいの修理はお受けいたしませんのでご了承ください（上記項目もよくお読みください）

（コピーしてお使いください。）

KSC製品　修理依頼書

年　月　日

氏　名		TEL	
		メンバーズNo.	
住　所	〒　−		

銃　名
故障内容
修理〈部品交換〉の希望内容（故障箇所以外のご希望があれば書いてください。）
（修理費用限度額、その他連絡内容）

お近くにKSC製品取扱店がない時は…

通信販売のご案内です　品切れ時以外、翌営業日には発送します

メールアドレス：business@ksc-guns.co.jp

KSCへ直接、商品ご注文の場合、右の表内容に準じてメモ等に明記いただくか、表をコピー（拡大可）して記入し、ご同封（着払い便希望の場合はFAX）ください。年末年始等の長期休暇直後や品切れ時以外は、受理日（振込の場合は入金確認日）の翌営業日には商品を発送します。（土・日・祝祭日定休/10AM～5PM受付）

- エアガン購入時は、都道府県条例等の関係で年齢確認が必要なため、免許証等の公的証明書のコピーをご同封いただきます。詳細はTELにてご確認ください。
- 品切れの場合もあります。あらかじめ在庫の有無をご確認ください。
- ご注文時は商品名を正確にお書きください（特にバリエーションがある銃の場合は、銃身長・仕上色・材質等も商品名として表示しています。これを書き忘れるとご注文の品を特定できませんので、必ずお書きください）。あなたのお名前、お電話番号、ご住所も忘れず明記してください。（=郵便・FAX・メールの場合）
- お買上商品総額（税込み）が5千円以上の場合はDC、VISA、マスターカードのクレジットカードもご利用可能です（詳細は通販部にお問い合わせください）。
- お買上商品総額（税込み）が1万円以上の時は10%割引します（詳細下記参照）。

★前払い ――― （現金書留/為替/銀行振込によるお申し込み）

- 上記内容に沿ってご注文いただきますが、送金額等に誤りがあると予定外の日数と費用がかかりますので、前もって通販部にご相談ください。
- お買上総額（税込み）が1万円以上の時は商品代金（税込み）＋一般発送諸費用¥850（宅配便送料＋梱包費用＋各費用消費税）の最終総額から10%割引した額をお送りください。
- お買上総額（税込み）が1万円未満の時は商品代金（税込み）＋一般発送諸費用¥850（詳細前述。軽量商品の発送諸費用は¥300）をお送りください。

送り先：〒400-0111 山梨県甲斐市竜王新町1852−6　KSC通信販売部
TEL. 055-260-7600　FAX. 055-279-0098（電話受付10時～5時）

送金先（銀行振込口座）：山梨中央銀行敷島支店　普通652277
株式会社ケーエスシー

★着払い ――― （電話・FAX・メール〈アドレス上記〉によるお申し込み）

- 着払い便（代金引換便）をご利用希望の方は、電話・FAX・メールによるご注文もお受けします。（FAXの場合、上記注意事項を参照し、同様の内容を記入）
- お買上総額（税込み）が1万円以上の時は、商品代金（税込み）＋代引発送諸費用¥1,400（宅配便送料＋代引手数料＋梱包費用＋各費用消費税）の最終総額から10%割引した額をお支払いいただきます。
- お買上総額（税込み）が1万円未満の時は、商品代金（税込み）＋代引発送諸費用¥1,400（詳細前述）の合計額をお支払いいただきます。
- 着払いの場合、宅急便扱いとなり、低額商品や少数注文時でも代引発送諸費用は¥1,400かかってしまいます。このような時は前払いの方法をお勧めします。
- 申込受付後、再確認のお電話を差し上げる場合がありますので、10AM～5PMに通じるお電話番号を明記してください。この再確認の電話が通じなかった場合、身元確認ができなかったと見なし、ご注文はキャンセルとさせていただきます。（いたずら電話防止策として行なっていますのでご協力ください。）

（コピーしてお使いください。）

KSC製品（部品）注文書　年　月　日

※部品以外の製品ご注文の際は、表のパーツNo/パーツ名の項は無視してご記入ください

氏　名		年齢　歳	TEL		
			メンバーズNo.		
住　所	〒　－				

銃　名	パーツNo.	パーツ名	（税込価格）	個数	合計額
			（¥　）		
			（¥　）		
			（¥　）		
			（¥　）		
			（¥　）		
			（¥　）		

合計額（部品総額＋発送諸費用）	部品総額（＝小計）¥
¥	発送諸費用　¥

連絡事項

KSC REAL GUN INFORMATION by

ヘックラー&コッホ社のハンドガン

第二次世界大戦後のドイツは連合軍によって東西に分割統治され、ドイツ国内にある武器産業は強制的に閉鎖された。ボルトアクションカービンのKar98k、ピストルではミリタリーやHScで有名な、世界の銃器界でも屈指のガンメーカー"モーゼル社"も、その例外ではなく、従業員は全員が解雇された。その中から、元エンジニアリングマネージャーのエトムント ヘックラー、元経営マネージャーのデオドー コッホ、元デザイナー兼エンジニアのアレックス ザイテルらが中心となって、1949年12月、新会社を創立。それが「ヘックラー&コッホ社」(以降H&K社と略す)だった。同社は当初、ミシン、工業用ゲージ、工作機械の部品等を製造していたが、スペインのセトメ社からアサルトライフルの部品製造のオーダーが入り、これが銃器産業へ返り咲く契機となった(このライフルが後に西ドイツ軍制式のG3ライフルへ発展、H&K社の経営基盤を創る―HK33取説参照)。以降、銃器製作へ経営内容のウェイトがシフトしていった同社は、1963年にライフル系ウェポンスシステムを概ね完成させ、翌64年には超有名SMGのMP5と、ピストルのHK4の開発に着手する。以下ではH&K社のハンドガン中心機種を簡単に紹介し、本題のUSPにつなげたい。

HK4 〈1968年〉

モーゼルHScをベースに発展・改良させた中型拳銃。名称は「ヘックラー&コッホ 4キャリバー」から由来する。一梃の銃に、4種のコンバージョンキット(バレル、リコイルスプリング、マガジン)を付け替えることで、.380、.32、.25、.22LRの4種の弾薬を選択して使用することができる。この「コンバーティブルピストル」である点が最大の特長。全長157mm、銃身長85mm、重量480g、装弾数7+1(.380)、8+1。1984年まで製造され、その間、官庁(警察・公安関係)向けに12,400梃、民間用に26,550梃、計38,950梃が出荷された。

P9/P9S 〈1970年〉

口径9×19/.30ルガー/.45ACP、全長192mm、重量920g、装弾数9+1(=9mm)/7+1(.45)。P9はシングルアクション、P9Sはダブルアクション。名称のP9はピストル9mm口径、Sはロングストロークトリガーを意味するドイツ語の頭文字からきている。77年以降はトリガーガード前方にフィンガーレストがつく(イラストのタイプ)。ハンマー内蔵型のためグリップ左側にあるレバーはハンマーをコックするためのコッキングレバー(デコッキングではない)。拳銃でグリップ以外にプラスティックを使用した最初の例(フレイム先端部~トリガーガード~グリップ部前部をプラの1部品で作成)。バリエーションにP9SE、P9S2、P9SK、P9P10、P9K、P9Sスポート、P9Sスポートがある(生産数は少ない)。

VP70 〈1972年〉

G3ライフル<1959>、MP5SMG<1966>、P9Sピストルなどでプラスティックに対するノウハウを蓄積してきたH&K社が、主要部体であるフレイムにプラを使用した、世界初のピストル。口径9×19、全長204mm(ストック装着時545mm)、重量945g、装弾数18+1発。ダブルアクションオンリー。ホルスターの機能も持つストック装着時はセミ/3発バースト可のマシンピストルとなる(SP2340取説同項参照)。開発コンセプトは「低価格のマシンピストル」。名称のVP70は「フォルクスピストーレ70(70年型国民拳銃)」を略したもので、国民だれもが買える低価格の普及型拳銃という意味合いで戦時中にモーゼル社が開発した同名(70はつかないが)拳銃に起源する。3バーストのVP70は後期にはVP70M(ミリタリーのドイツ語頭文字)となり、セミオートオンリーはVP70Z(民間の意)と分類され、グリップに各々の名称が刻印された。

P7 〈1978年〉

西ドイツ連邦警察の制式拳銃トライアル提出の試作モデル「PSP(ポリツァイ ゼルプストラーデ ピストーレ=警察用自動拳銃)」が、1978年に「P7」名で制式採用。79年1月から警察への納入が始まり、その後、同名に改称して市販も開始する。口径は9mmルガー(9×19)、全長166mm、重量950g、装弾数8+1。発射ガス圧を利用したディレイドブロウバックで、グリップ前面にあるスクウィズコッカーは、握り込むことで、ファイアリンピンをコッキングさせる機能、一種のグリップセフティ、ホールドオープン時のスライドリリースの役目をはたす。いかにもH&K社らしい斬新でメカニカルな陣容で構成されたラージオートコンパクトに仕上がっている。1981年、米軍のJSSAPピストルトライアルにロングマガジン仕様のP7A10と複列弾倉のP7A13を出品。残念ながら選からは漏れるが、このXM9トライアルに適合させた改変部分を発展させて、改良モデルのP7M8(単列弾倉/イラストのモデル)、P7M13(複列弾倉)が完成。83年から84年にかけて順に販売を開始する。ちなみにMはマガジンを意味し、数字は装弾数を表している。その後、HK4のようにコンバージョンの.380、.32、.22LR口径のP7K3(1984年)、.45口径のP7M7(1985年/試作で終わる)、.40口径のP7M10(1992年)が開発される。

USP 〈1993年〉

P7のパワーファクター上の限界を、P7M7やP7M10の開発で痛感したH&K社は、9mmルガー弾以上の大口径への展開のプラットホームとなる新型ピストルの開発を1990年には開始していた。過去のH&Kピストルは、いずれも革新的な機構に満ちていたが営業的に大成功というわけにはいかず、技術や構造に走りすぎた嫌いもあった。そういった反省点をふまえて、93年、新拳銃が完成。名称はUSP(ユニバーザル ゼルプストラーデ ピストーレ/英語ではユニバーサル セルフローディング ピストル)。.40S&W弾用と9mmルガー弾用がまず発表され、遅れて.45ACP弾用がデビュー。全長195mm、全高136mm、重量825g、装弾数13+1(9mmは15+1)。45口径版はボディーがひと廻り大きく、全長200mm、全高141mm、重量885g、装弾数12+1発。コントロールレバーに託された機能の違いで10種のメカニズムバリアントがあり、バリエーションには『マッチ(旧名スポート)』、『カスタム』『エキスパート』『タクティカル』『エリート』がある。なお、9mm口径USPは1995年に「P8」の名称でドイツ軍用制式拳銃に採用されている。

MK23ソーコムピストル〈1996年〉

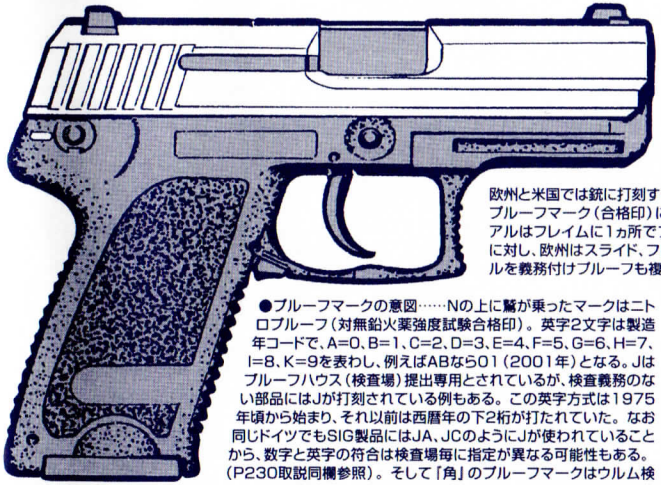
米軍特殊部隊制式のオフェンシヴコンバットピストル。口径.45ACP、全長245mm、全高150mm、重量1.208g、装弾数12+1。特殊部隊のようなエリート兵士によるCQB(室内戦)では、時としてライフルやサブマシンガンよりも大口径ピストルの方が有効である、という第一線の見解を採用し特殊作戦司令部(SOCOM)がコルト社とH&K社に新拳銃の開発を要請、1991年に開発契約を締結する。それを受けてH&K社ではUSP開発陣がUSPと並行して新拳銃の開発を担当。92年にフェイズⅠプロトが完成し、海軍特殊部隊SEALがトライアルを実施する。結果、H&K社製が制式に選抜され、94年のフェイズⅡ改良プロトモデルを至て、96年より正式量産モデルの納入が開始される。そして翌97年には市販モデル「マーク23」も発売となる。(詳細はKSCが1998年にエアガン化したMK23ソーコムピストルの取扱説明書内同項参照)

2003年現在、H&K社ではP7M8、USPシリーズ、マーク23をカタログに掲載し、他のモデルの生産は中止している。USPシリーズの中にはフルサイズモデルの他にコンパクトモデルもあり、このUSPコンパクトの廉価モデルにあたるP2000という機種も存在する。

USPコンパクト

1990年代に入り、アメリカでは、予期せぬ犯罪から身を護るためにライセンス制で銃の携行を認める州が増え始めた。犯罪をなくそうと銃や刃物に対する法律をいくら強化し規制しようとも、犯罪者にとって法は無視するための存在でしかなく、一方、遵守する市民は法に縛られ無力化してしまう。そして、特に女性の場合は一段とその傾向は強くなる。このような矛盾が実態である以上、犯罪を抑制し防止するためには合法的に銃の携行を認めたほうが良い。そういった考え方から始まったコンシールドハンドガンライセンスだった。古くから中～小型の拳銃が携行用・女性用とされて来たが、威力の点で25口径や32ACPでは現在の犯罪者の武装に立ち向かうには不安がある。せめて.380口径以上でありたいが、大型の銃は身に着けるにもバッグに入れるにも常時携帯するには大きすぎる。そうした不満に対応すべく生まれたのが『スモールナイン』と称される新サイズカテゴリーだった。9mm口径以上の高威力弾が使用できる大型拳銃の小型化版という意味合いだが、サイズ上の明瞭な線引きはない。通常、大型拳銃と呼ばれるものは全長が20cm前後が大半なので、18cm以下くらいがこのカテゴリーに入ると見て良いだろう。具体的な例でいうならクーガーやP228あたりより小さいサイズ。G19やG26まで小さくなれば正に「スモールナイン」の典型と言える。このスモールナインブームは90年代中期から始まり、その流れは今も続いているが、USPもその例に漏れず1996年末には「コンパクト」が登場している。

USPコンパクトの全長は173mm（フルサイズより21mm短い）、全高127mm（9mm短い）重量750g、装弾数13+1（=9mm）、10+1（=.40）。グリップもフルサイズよりひと廻り小さく握り易くなっている（フルサイズモデルとの大きさ比較は右図参照→グレー部がフルサイズUSPのディテール）。発売はまず40S&Wと9mmルガー弾用が先行し、続いてコンパクトのみで採用された.357SIG弾用、ボディーサイズがひと廻り大きい45ACP弾用と立て続けに1997年のうちに追加されている。また、ドイツ連邦警察制式にも同年のうちに9mmルガー弾仕様が『P10』の名称で採用になっている。このコンパクトモデルもフルサイズ同様10種のメカニズムバリアントがあり（KSCが製品化したのはバリアント1）、口径別の他にステンレススライドを標準仕様としたデュアルトーンタイプも存在する。フルサイズ同様フレイムはポリマー（プラスティック）。ボディーサイズ以外のコンパクト固有の特徴としては、以下の点があげられる。 ①グリップが短くなったためホールドを補うフィンガーレストつきのエクステンデッドマガジンベースが追加採用された。もちろん携行時にジャマにならない、フレイムにぴったり納まるマガジンベースもある（KSC製品には両方をセット） ②ダブルハンドホールドをより確実にするためにトリガーガード前部のフィンガーレスト形状がスクエアに改められた ③コントロールレバーのチャンネル部を低くし、ハンマースパーをカットしてボブドタイプとすることでコンシーラブル性を高め、携帯時にクイックドゥロウで取り出す時に、上着の裏地に引っかかりにくいようにした。



欧州と米国では銃に打刻するシリアルNo.（個別製造番号）、プルーフマーク（合格印）に対する考えに相違がある。シリアルはフレイムに1ヵ所でプルーフは省略傾向が強い米国に対し、欧州はスライド、フレイム、バレルの3カ所にシリアルを義務付けプルーフも複数箇所に打刻される事が多い。

●プルーフマークの意図……Nの上に鷲が乗ったマークはニトロプルーフ（対無鉛火薬強度試験合格印）。英字2文字は製造年コードで、A=0、B=1、C=2、D=3、E=4、F=5、G=6、H=7、I=8、K=9を表わし、例えばABなら01（2001年）となる。Jはプルーフハウス（検査場）提出専用とされているが、検査義務のない部品にはJが打刻されている例もある。この英字方式は1975年頃から始まり、それ以前は西暦年の下2桁が打たれていた。なお同じドイツでもSIG製品にはJA、JCのようにJが使われていることから、数字と英字の符合は検査場毎に指定が異なる可能性もある。（P230取説同欄参照）。そして「角」のプルーフマークはウルム検査場での合格を示す。（ワルサー社、モーゼル社も同検査場管轄）。検査場は他にキール『葉』（SIGザウエル）、ハノーバー『跳馬』、ベルリン『熊』、ミュンヘン『楯』、ケルン『3冠紋章』がある。

●H&K社シリアルナンバーの意図……1987年製のP7K3から2桁-3～6桁という数字配列で製造番号表示を実施。最初の2桁は製品コードになっている。例えばUSPコンパクトを例に上げるなら、.40S&W口径が26番、9mmが27番、.357SIGが28番、.45ACPが29番。実際に資料写真内で打刻されていることが確認できたのはP7M8の16番より大きい数値だが、HK4を1番と仮定してH&K社製拳銃を製作順に並べるとぴったり符合する。

0810USP7

◁ OPERATOR'S MANUAL ▷

ksc USP series

spec

●口径=9mm（6mmBB）●全長=201mm(45)、173mm(C)●重量=約825g(45)、約710g(C)●装弾数=25+1(薬室内)発(45)、22+1(C)● 使用パワーソース= KSCガスボンベ(フロンHFC134a)● 機構=ガスブロウバック／シングル&ダブルアクションセミオートマティック／ SYSTEM7エンジン ／ リアルライヴオペレーション／リアルライヴデコッキング ／リキッドチャージ マガジンシステム● 材質=耐衝撃性ABS、 Znダイキャスト、焼結成形金属、スティールプレスパーツ etc

株式会社 ケーエスシー

KSC CORPORATION

◆ ホームページ http://www.ksc-guns.co.jp ◆

本社：〒400-0111 山梨県甲斐市竜王新町1852-6
TEL 055-260-7600 FAX 055-279-0098

◆ メールでの お問い合わせ business@ksc-guns.co.jp ◆

[標準装備] ●ドラムクリックタイプ可変ホップアップシステム ●プリシジョン（超精密）インナーバレル ● ロックアウトディバイス

[付属品] 0.25gBB弾100発 ● ホップアジャスター ● ロックアウトキー ●コンパクトマガジンベース(9mmコンパクトのみ) ●取扱説明書、エアガン警告カード、愛用者カード

● 商品に関するお問い合わせや、本書内容でご不明な点がありましたら、KSCアフターサービス部(上記住所・電話番号)へご連絡ください。● 誤った取り扱い、改造を施した銃、分解・組み立て・改造時、等において生じた事故・故障・ケガ等 につきましては、当社ではいっさいの責任を負いかねます。ご了承ください。● 本説明書内で記載されている商品価格は、消費税込みのメーカー希望小売り価格です。